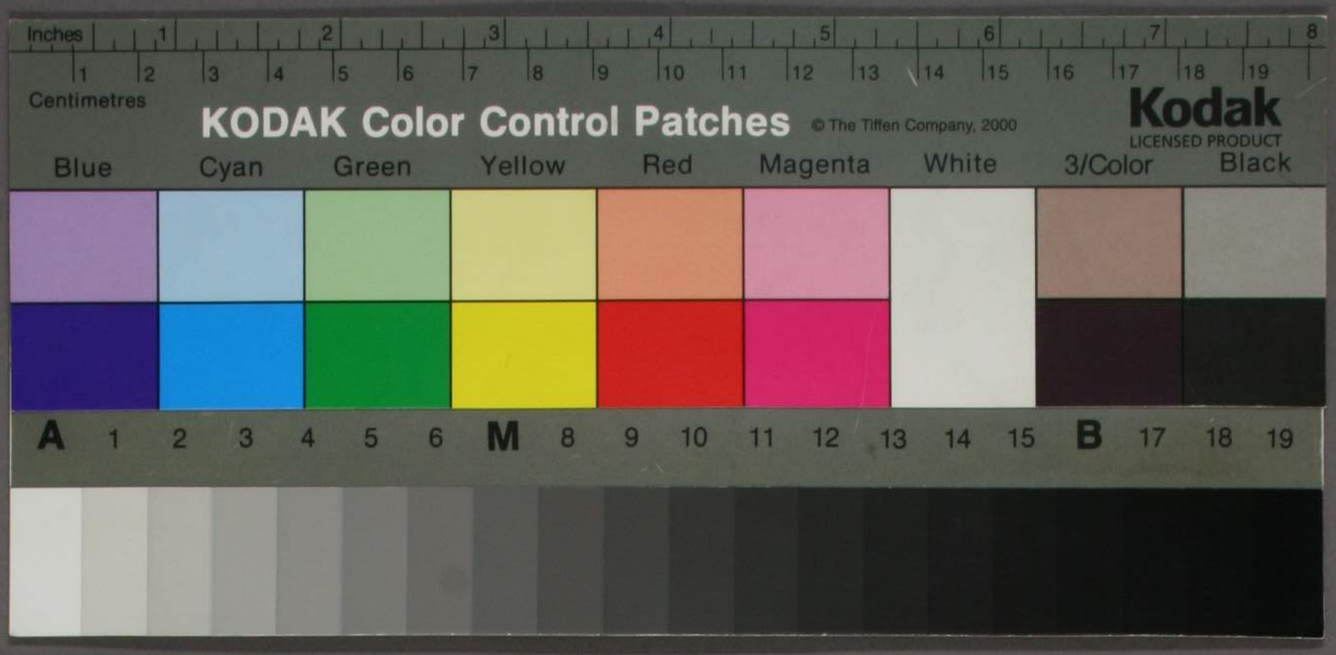

Inches
Centimetres
KODAK Color Control Patches
© The Tiffen Company, 2000
Kodak
LICENSED PRODUCT
Blue
Cyan
Green
Yellow
Red
Magenta
White
3/Color
Black
A
M
B

ホ 2
5618

和一冊 二函 一號
重複
ホ2
5618
ホ2
4-813

古事類苑

補遺

東都 古典學會 編輯

帝國圖書館藏

いふことくはいつらくだまの幸ある國と。見はしもて筆をめれば皇神乃
さきくまして。通ふらはざるのをきをりみせ。
れ学の中代常の言ごとも。神の代のよざよるるこを
人の代のまでも。まくまで伝くりよ。もでのもせ
ての幸なのよらうもらくいて。あやしくくへ
ちるはこのそ説の事ある。そのあれば志の
什の人といへども。ふるをよくこころこの

いさをとのくいさをとのくいさをとのく

明和二乙酉年仲春日　　蘇宮の主万侯識す

今呼補凡百五十言

附ていふ

○言の上中下おいねえ名をれるどのたがひ、又言の下ゟ云、波を和のごとく、比を伊為の如く、倍を延恵の如く、保を乎於の如く唱へ、或ハ治自頭受などのごとくにて、古の書こふ書ふすべて遠ふるく正しくあんべくるゝ、ここに近き時和字正濫抄とてさる言どもし書つゞなるあり、まことにそのんやせるさまおぼでらん人の私ゟ思ひいひていふなるもの、類ゟあるべくきさま、且いかゞ考へざるるの多こうの楽あるものを、或人ひく世ゟ弘るまりとていへるさゝえみもめ、其言の出る所ゆゑをもとをも記せハ十ゟ三つ四つまり、此度考られる言ハまだ〳〵十八百八十三言、悉故ゟを挙たり、又古書ゟ假字の見えざるも、彼是通ハして知らるハそのうへを記つさてもおほ古ゟ考るうを得ざる一つ二つもこせるもあり、志ハあれどかの故ゟをそるせもたがふるもあんまや、且記ろくもをいもそれどもれるゟみべし、これゟハ後ゟ向ゟ得考もしつべしもとてあきそちらせバ私の志ゟ引んするを恐るべし、

○和名抄ゟ夾纈をかうけち、萱草をくるんさうなどゟ字音どゟ出せれど、皇朝の言ゟあるごとべし、又郡の名、郷の名のたぐひゟ字音のごと呼ゆるもあるべし、

朝の言あるを、音のごとき合字を借て書るものいはゞ郡ゟ奨多和名安、郷ゟ青波和名以久波のごとく書るをのいはゞ

○訓の如く書えて字音あるありたとへバ

○えに 縁　○らに 蘭
○あふむ 鸚鵡おうむ　○くる 法華経をくるきょう
○へんぐる 変化

古今集物名ゟ

○てふ 蝶　○せち 切
○ぐるんご 源氏

○ばせをバ 芭蕉和名同　○さうび 薔薇和名同
○きちかう 桔梗　○けふごり 牽牛子
和名抄ゟ　○のぜり 陵苔
○もくらに 木蘭　○むろれもゝのき 木蘂子
○ゝゝゝ 若み 燈心　○はおざう 匝
物語ゟ　○くのえかう 裏衣香　○さう 若こ 正身
○すざく 朱雀　○せうそこ 消息
○かんぞおり 王家統

○例をもて知らるゝハ省けるもゝ、譬バ物の名ゟ大何小何などいる、大ハ於、部小ハ袁部ゟあ

濱按梵語のまゝを訓ゟ用ひしハ

凡ゟ斑ゟ猴ゟ

唐音ゟて唱るゝハ

杏仁ゟ 石灰紛
菠薐ゟ

字音のまゝを訓よむしハ

菊 桔梗
繪期 役

此外錢、蟬、文ゟども皆字音ゝ

春云くるにゟ未丹の音ゝせんてすんえず

春云くふゟハ半挿の音ゝくのえゟ薫衣香ゝ

裏衣香ハろびうちう

春云字鏡を例とせんといふ人のいふことよくそハいくらにてもかきまハるべきの理をもてさとすなり

春云鏡宴哥の假字ふるきことハいふまでもなくそのくさ

奈良の朝より上代のかなを用る字ハ大抵異にて字鏡和名などにハ目やすき字のみとあり、寛平延喜承平の頃までも假字の実ハたがふるすあり

常ふく毒地の假字を用るハ誤猶此ごとくハ具ふく毒地地の草ふて皆濁音ニ清音の假字を用るハ誤猶此ごとくハ具ふく清濁音訓をわけて

増補古言梯 撰言

古言の證とすべきもの中ふ、新撰字鏡てふ書ハ古き世の書目録に字鏡といへるあるも其字鏡ハいと古へ出来しものなるに次て新撰を作るといふんふさまじい寛平四年ふ撰ふると記して実ふ古言多く假字も古ふおもへども是を吾友村田春海てふ人京ふ遊へる時ゆくり拾ひいでたるこひくもたらしを見るふ、疑ひなく言の知らるゝ多ふて、たゞ〳〵ゞ蝉ハ音のまゝふ訓ハ知らかゝるに可咲を阿奈乎加志といへる假字の出るところ知らず加波比良古こ訓を出雲風土記を豊後風土記のごとめのみ遺りて其外をも此記の傳ふる時ふ書たるものふ引るをハじめ用ひたるハ古もいふまでもなくそのたぐひ

○神樂、催馬樂、風俗哥の古本あれどハ賀茂大人と村田春郷の京ふ行る時得ていと多く皆真字もて書傳へて假字古へふたがふこともなくなんありける

○日本紀竟宴哥にも、是も真字もて書て誤りうさんとすれども據とるべきものハなかりつ事七文字ふ交ふるハ後の人のうつし書とうつ

○證とするものハ古事記日本紀ふ場くあるハ古事記を挙て紀同とし書、字鏡和名ふ同じきハ字鏡を挙て和同とす、古きをもて先とすること他もしかり

○古事記日本紀等の假字ハ專ら字音を用ひ訓を交へず、清濁の如きも清濁ともに用ひ又濁音ハ別ふことあるハ清濁ともに用ひ又古へ両音ふ用ひしもの多し考ふるを字鏡和名などにハ古へのごとく書べきを中つ世の下ふ至りて、木止戸江女井などの訓をのみ用ひハその頃までにハ漸くふ正しかゝりべきものゝ、されば字を用ること正つ代ふハ異あるべく、假字の意ハたゞふとなるを見ふ及ひつゝ、万葉集ふハ訓の假字多く、ふハ字音、訓語、義訓、正訓、戯書などさまざまふありつゝ、ものゝおもひハ理異あり、又常ふえこえ等の假字を用るをも訓ふよりて今ハ字鏡、和名等を引るまでもなく訓の假字を除く字音のみふ改つゝ

○一言の條ふ出せる、清音、濁音、清濁二音、半濁音、二字一言等ハ古事記、日本紀、万葉集等ふ用たる假字ふ、且假字ハ四声ふかゝるべくして用るぞ古例ある

○草木鳥獣などの字ハおぼつかなきもあるべく、志びく字鏡和名ふおよばぬ字ハかゝの物とて用ふるがよろしくみ、吾朝の古例をもべし

○すべて言のもとハ五十の音のうちにて用ひざるものゝハ誰も五十の音のすを先へてもきれば、唯音、舌音、歯音、牙音、脣音ら、言のおこりる始とのみいひて、五十音の万づの言ふ用る道を委しくいひ明せるハなし、天竺の言を書一物ふもみえず、さらバ世ふ傳らぬなるべし、かるを荷田大人東人其稲荷神社ふ

春云荷田の家ふ五十音の古傳あしゑハうけらまめことゝ思ふくば僻言あらん賀茂翁の語意も未定カ書ふて往ひこをさゝ多〳〵

古事記ふ宇比地邇途上声須比智邇途去声かく註せり是宇須の二字異るのみて他皆同ト假字と音ハ字にうごかるゝもの也此類るなみ

○或人吾友藤原宇万伎ふ問、假字づひてふものいかゝ上つ代よりあるべきふ、文字渡りて後音韻四聲あるとう、又ハ悉曇るもうてこゝろを定るなりといづれも文字のうへのさだを也ハ、吾國のすゝそれ天竺るも本字てものハあらて、たゞ言のみあるを後ふ日月鳥獣千万の物の形を書て、その音の名ろ〳〵ゆゑ〳〵うつりそれ〳〵形よき音にうつしおもふハいかゝ後の世のあらハ〳〵そのかゝ皇朝の言の事といさゝかいまゞいゝねるおゝの假字を用ひけるハ他の國の音韻四聲はゝ悉曇るもよれるふにて、文字ハ後ふそくるものにて也ハ言の意ふ出つるほゝ、その言をりてまふ音韻即ロの内ふそなる多ろ、いまゝでもかこけをゝも、億計王弘計王ゝ申すハ御兄貴ふれ〳〵て、君ふも同ト也ありうねゝ一つをハ億ゝ弘ゝ交へ用ゆるあゝバ、いづを御兄いづを御弟ゝもさとつべ〳〵きのみふもあゝべ、上つ代よりいひ出る言の、ヒを下へいひかけるふゝ緯辞ふ多の也ゝいねるおゝの言一つゞふまぎらゝこゝ

典云此標註の説いかゝやあら唱ふとも誤こハあるへ〳〵す狩ス部のスヌス

まゝむ也ち此ばひふ(ぼハ通リ古例)譬バむぐをのむりけゞ〳〵をけり此きゞぐひ皆是ゝ武無とぶゝむ此ゝみ麻馬をばるまゝもよむ如くなのびの此のぶなのむむ此ゝをゝ言を心得ぬ人むぶ此ゝをゝうちよりとゝ誤ゝ

古書とゝろゝゝんゝ此ゝも私を豆ひ此ゝする人ハひ此ゝゝ

まゝ、是ふ文字をつゞぬさふの事、吾國の言の多るをえよ、かみ風の伊勢といひはるゞすみみ(井ト)のくさひ、みあぞふをみのを此ゝ先此ゝひ、そふかぞふれたつの子がおゝいふけ一ろ〳〵ふ、且東國の男女のれのづゝ〳〵ゝひ出せ一國風を多く万葉集ふ載しふ、音韻を知るどの事ハまろと此ゝみゆるを、如く上つ代の言ハなのづゝ正〳〵うけるこゝ、あゝ一傳〳〵假字ふまバ必古き書ふて、古書ハ古事記うづゞそ〳〵延喜承平のころ至るまでの書ゞもこゝろ、此言ゝあるを、後の世ふたゞ〳〵假字の事いふ人あるも、皇朝の古書をバよみも得ずして、あるハ文字の反四聲ふとう、あるハ悉曇ふもゝづきてえハみる古てふぶいく私のこゝろをゝ此ゝむるふたゞみするあるうてはゝけ、此事心得がてふする人てろみる私をやゝ名てく、古書を見バ終ふゞたゝべ、問ものへる悉曇ハいゝ後ふ此國ふらう〳〵ものゝ

○次ハ五十音ふまとゞぶ、條ハ一言より四言五言ゝるちぬ

原本古言梯ハ杠をの所屬と誤れる今改めつ

あ 一丁	か 二十	さ 九九	た 三十五	な 四十二	は 四十六	ま 五十二	や 五十七	ら 六十	わ 六十一
い 四	き 九五	し 三十一	ち 三十七	に 四十三	ひ 四十八	み 五十三	い 既出	り 同	ゐ 六十二
う 十	く 九六	す 三十三	つ 三十八	ぬ 四十四	ふ 五十	む 五十五	ゆ 五十八	る 同	う 既出
え 十三	け 九七	せ 三十四	て 四十	ね 四十五	へ 同	め 同	え 既出	れ 六十一	ゑ 六十三
お 十四	こ 九八	そ 同	と 同	の 同	ほ 五十一	も 五十六	よ 五十九	ろ 同	を 六十四

古 古事記　紀 日本紀　続紀 續日本紀　続後紀 續日本後紀　詔 續紀宣命　式 延喜式　祝 式祝詞　万 万葉集　新万 新撰万葉集　字 新撰字鏡　和 和名鈔　霊 靈異記

此外の書名ハ全く挙

原本ニハ一言の条ハいろえおをの部の外訓の假字とのすすされど万葉ふど意得ん便しもあろうへくるとハ今巻〻挙之但一日やがと訓道路極などもぢと訓さるひハ上ろ連続一言のくある是ハ今おろせて一言の假字ニ用ひ書んハろうしべこの類るほ一用捨して書づる

増補古言梯標註

○安部

一言

あ 安。阿。婀。鞅　音也 古事記 日本紀 万葉集 假字 下同

いは 巌也 古事記 阿波 日本紀 同　栗

いは 舌 阿波 万葉集 同　淡

いは 國 阿波

いわ 水上のあとこ 舌 阿和 紀 同　沫 泡

いを 舌 阿 魚ノ字 阿 地 和 同　鯨

いぢ 舌 阿治 紀 同　味

いへ 舌 阿倍 紀 万 同　青

いぬ 深草 字鏡 和 阿為　藍

いを 若狭郷ノ 和 阿乎　阿桑

いのえ あやかるノ 紀 阿叡　肖

いぢ 鬼類ノ 万 阿遲村 運歩色葉集 安持　鵜 運歩 色葉

二言

あひ 又 安房 和名抄 阿八　粟

あは 飛驒郷ノ 和 安波　阿拝

あふ 逢ノ又 相 合會遇 古 阿比。阿布 紀 万 同

あへ 郷貴ノ 和 筑前郷 繋饗ノ又 波倍とあり久波

阿倍と約ル大るあり

三言

のるゝ 古本風俗哥 阿流之 主

あふち ホ〻 万安布 知字和同 楝

のづき 豆〻 紀阿 豆状和同 小豆

のふひ 草〻字 阿保比古今集物名 逢日ヨ添和 阿布比

のはぶ

のはき

のはのび 貝〻紀 炯波 漆万和同 蘡 石決明又鮑

のづき ホ〻古 阿豆佐紀万同 梓

のをゞ 青礪〻和 阿乎度 礪砥

のゞ

のはぎ 萩〻紀 阿波 万和同 胡枝子

のぢし 野老 和名 薯蕷

のぶだう 蒲萄 和名 烏蘇利

のぐさ 草〻 和名 莠

のぐそ 屎 和名 糞

のぐち 口 和名 喙

のぐるま 車 和名 輿

のぐつわ 口籠 和名 馬勒

のぐら 鞍 和名 鞍

のぐち 口 和名 轡

のぐつ 沓 和名 履

のぐし 櫛 和名 梳

のぐさり 鎖 和名 鏁

のぐち 口 和名 鑰

のぐち 口 和名 鎰

のぐち 口 和名 鍵

春云由に以と通ふさやうに聞ゆるなり

春云平安といふ意と訓ずることいふる故なるべし実沖が説み物語ふいふる『いえうと云詞とこの郷名と同一假字あるんとふるハひがてん『いえうハいやふげのつぶうたるみて衣の假字なり

春云ハひねハ相追あり恵慶集に子日二首あり『あひねひちてんとて』ゐ孔夕ふねうつる聖人のふねと

絶 あーきぬ アンキヌと今ノ太織ノ牛

古語拾遺 織布 古語阿良多倍

春云ハひハ今云豆代のるゑ竹取物語古本今昔物語『えめ

濱云純紀宣命は攻乎相阿奈那比

麻柱之義蓋本于此

田中道麿曰古云麻柱

あーひがを清てぴと潤るべし

増補古言梯 標註

平安

四言

あいた 美作郡ノ 和安伊多 英多

いをみ 三河郡ノ 和阿乎美 碧海

あゆち 尾張郡ノ紀 吾湯市 因年魚市と有和阿伊知 こをゝのハ平言ノ『おゝ』ハ

いかふ 信濃郷ノ 和安加布 赤生

いのろか 泷路郷ノ 和阿恵加

ひよ兒 兄弟の妻ノ 和阿比与米 妯娌

いわゆき 古阿和由 岐支 和同 沫雪

いひむこ 姉妹の夫ノ 和阿比無古 婿

いのひれい 相老ノ相ハ阿ノ部ニ老ハ於ノ部ふ在 相生のうとするハ誤

あーなべ なべ 足病ノ字足奈倍 和同又那閉久 跛蹩

おひ 清盲ノ宇和 阿支志比 矇

いのはがら 魚ノ和阿 波我良 抗歯魚

をむー 虫ノ和阿 乎無之 蝱蛉

いまづ

あぢさゐ 草ノ万亨安治佐 鳥和安豆佐爲 紫陽花

あさ

らくだ 甘葛ノ字甘 豆良 和同 千歳藥

四言

いのわゆき 古阿和由 岐支和同 沫雪

いのひむこ 姉妹の夫ノ 和阿比無古 婿

いのひれい 相老ノ相ハ阿ノ部ニ老ハ於ノ部ふ在 相生のうとするハ誤

いのき

いのろか 泷路郷ノ 和阿恵加

いのはがら 魚ノ和阿 波我良 抗歯魚

いまづ

いのをのり 海草ノ和 阿乎乃利 海苔

いのさぢふ 浸芽生ノ古阿佐遅波良紀同 此ふハ音便濁の例ノごとくて半濁ふ字の加く唱

いのち

あぢさゐ 草ノ万亨安治佐 鳥和安豆佐爲 紫陽花

あさ

あぢはひ あぢハふ 字醸を訓我 支阿地波比 味

あをひ

あをやぎ 青ノ和阿乎 柳ノ支阿奴木 青柳

あをうみ 青ノ和阿乎 海ノ美 青海

あをやま 青ノ和阿乎 山ノ末 青山

あをうま 青ノ和阿乎 馬ノ末 青馬

あをくさ 青ノ和阿乎 草ノ久佐 青草

あをぞら 青ノ和阿乎 空ノ曽良 青空

あをくも 青ノ和阿乎 雲ノ久毛 青雲

あをにび 青ノ和阿乎 鈍ノ尼比 青鈍

あをだち 青ノ和阿乎 太知 青立

あをば 青ノ和阿乎 葉ノ波 青葉

あをみどり 青ノ和阿乎 緑ノ美止利 青緑

あをぐろし 青ノ和阿乎 黒ノ久路志 青黒

あをじろし 青ノ和阿乎 白ノ志路志 青白

あをあかし 青ノ和阿乎 赤ノ阿加志 青赤

あをきし 青ノ和阿乎 黄ノ支志 青黄

あをむらさき 青ノ和阿乎 紫ノ牟良佐支 青紫

あをくろし 青ノ和阿乎 黒ノ久路志 青黒

あをじろし 青ノ和阿乎 白ノ志路志 青白

あをあかし 青ノ和阿乎 赤ノ阿加志 青赤

あをきし 青ノ和阿乎 黄ノ支志 青黄

あをむらさき 青ノ和阿乎 紫ノ牟良佐支 青紫

あをぐ

甲

五言

いるひは
一謂也 或

いまさへ
訓ノ 剰

いまのごのは
天河ノ河の訓加部ふあり 銀漢

いまふづ
越前郷和 阿佐布豆 朝津

あゆかは
相模郡和 阿由加波 愛

六言

いまさひる
安房郡又駿河遠江郷和 阿左比奈 朝夷

いまがへる
虫ノ和 阿末加閉流 蛙

あをひとくさ
人民ノ古 青ク草紀 阿乎比等久佐 蒼生

あをむ

あなづら
葛和 阿介比加都良 蔓草

七言

いまのごのは
天河ノ河の訓加部ふあり 銀漢

いまふづ
越前郷和 阿佐布豆 朝津

あゆかは
相模郡和 阿由加波 愛

いまさへ
訓ノ 剰

いまがへる
虫ノ和 阿末加閉流 蛙

あをむ

あをひとくさ
人民ノ古 青ク草紀 阿乎比等久佐 蒼生

あなづら
葛和 阿介比加都良 蔓草

ば

蜻蛉之小而赤也和 阿加恵無婆

ばいまやむまと
今やむまと云名ぴバの訛ろ 赤卒

ばへづくり
和 阿閉豆久利 詳切肉合揉也 膾

ばな

ま

まつひ
虫ノ字足ノ万豆比 蜱

まをふよー
冠辞古 阿表途 余志紀同 而恵夜 妍哉

まをひとくさ
人民ノ古 青ク草紀 阿乎比等久佐 蒼生

まをむ

まぢきも
甲虫ノ和 葦原蟹 蟛蜞

や

やまさへ
訓ノ 剰

やまふづ
越前郷和 阿佐布豆 朝津

やまがへる
虫ノ和 阿末加閉流 蛙

やをむ

やぢきも
甲虫ノ和 葦原蟹 蟛蜞

ら

らいまやむまと
今やむまと云名ぴバの訛ろ 赤卒

らへづくり
和 阿閉豆久利 詳切肉合揉也 膾

らなづら
葛和 阿介比加都良 蔓草

わ

わるひは
一謂也 或

わまさへ
訓ノ 剰

わまのごのは
天河ノ河の訓加部ふあり 銀漢

わまふづ
越前郷和 阿佐布豆 朝津

わゆかは
相模郡和 阿由加波 愛

わまがへる
虫ノ和 阿末加閉流 蛙

わをむ

わぢきも
甲虫ノ和 葦原蟹 蟛蜞

ゐ

ゐまさへ
訓ノ 剰

ゐまのごのは
天河ノ河の訓加部ふあり 銀漢

ゐまふづ
越前郷和 阿佐布豆 朝津

ゐゆかは
相模郡和 阿由加波 愛

ゐまがへる
虫ノ和 阿末加閉流 蛙

ゐをむ

ゐぢきも
甲虫ノ和 葦原蟹 蟛蜞

ゑ

ゑまさへ
訓ノ 剰

ゑまのごのは
天河ノ河の訓加部ふあり 銀漢

ゑまふづ
越前郷和 阿佐布豆 朝津

ゑゆかは
相模郡和 阿由加波 愛

ゑまがへる
虫ノ和 阿末加閉流 蛙

ゑをむ

ゑぢきも
甲虫ノ和 葦原蟹 蟛蜞

ゐ

ゐるひは
一謂也 或

ゐまさへ
訓ノ 剰

ゐまのごのは
天河ノ河の訓加部ふあり 銀漢

ゐまふづ
越前郷和 阿佐布豆 朝津

ゐゆかは
相模郡和 阿由加波 愛

ゐまがへる
虫ノ和 阿末加閉流 蛙

ゐをむ

ゐぢきも
甲虫ノ和 葦原蟹 蟛蜞

ゑ

ゑまさへ
訓ノ 剰

ゑまのごのは
天河ノ河の訓加部ふあり 銀漢

ゑまふづ
越前郷和 阿佐布豆 朝津

ゑゆかは
相模郡和 阿由加波 愛

ゑまがへる
虫ノ和 阿末加閉流 蛙

ゑをむ

ゑぢきも
甲虫ノ和 葦原蟹 蟛蜞

ぬ

ぬまさへ
訓ノ 剰

ぬまのごのは
天河ノ河の訓加部ふあり 銀漢

ぬまふづ
越前郷和 阿佐布豆 朝津

ぬゆかは
相模郡和 阿由加波 愛

ぬまがへる
虫ノ和 阿末加閉流 蛙

ぬをむ

ぬぢきも
甲虫ノ和 葦原蟹 蟛蜞

ね

ねまさへ
訓ノ 剰

ねまのごのは
天河ノ河の訓加部ふあり 銀漢

ねまふづ
越前郷和 阿佐布豆 朝津

ねゆかは
相模郡和 阿由加波 愛

ねまがへる
虫ノ和 阿末加閉流 蛙

ねをむ

ねぢきも
甲虫ノ和 葦原蟹 蟛蜞

の

のまさへ
訓ノ 剰

のまのごのは
天河ノ河の訓加部ふあり 銀漢

のまふづ
越前郷和 阿佐布豆 朝津

のゆかは
相模郡和 阿由加波 愛

のまがへる
虫ノ和 阿末加閉流 蛙

のをむ

のぢきも
甲虫ノ和 葦原蟹 蟛蜞

ど

どまさへ
訓ノ 剰

どまのごのは
天河ノ河の訓加部ふあり 銀漢

どまふづ
越前郷和 阿佐布豆 朝津

どゆかは
相模郡和 阿由加波 愛

どまがへる
虫ノ和 阿末加閉流 蛙

どをむ

どぢきも
甲虫ノ和 葦原蟹 蟛蜞

ぼ

ぼまさへ
訓ノ 剰

ぼまのごのは
天河ノ河の訓加部ふあり 銀漢

ぼまふづ
越前郷和 阿佐布豆 朝津

ぼゆかは
相模郡和 阿由加波 愛

ぼまがへる
虫ノ和 阿末加閉流 蛙

ぼをむ

ぼぢきも
甲虫ノ和 葦原蟹 蟛蜞

も

もまさへ
訓ノ 剰

もまのごのは
天河ノ河の訓加部ふあり 銀漢

もまふづ
越前郷和 阿佐布豆 朝津

もゆかは
相模郡和 阿由加波 愛

もまがへる
虫ノ和 阿末加閉流 蛙

もをむ

もぢきも
甲虫ノ和 葦原蟹 蟛蜞

よ

よまさへ
訓ノ 剰

よまのごのは
天河ノ河の訓加部ふあり 銀漢

よまふづ
越前郷和 阿佐布豆 朝津

よゆかは
相模郡和 阿由加波 愛

よまがへる
虫ノ和 阿末加閉流 蛙

よをむ

よぢきも
甲虫ノ和 葦原蟹 蟛蜞

ろ

ろまさへ
訓ノ 剰

ろまのごのは
天河ノ河の訓加部ふあり 銀漢

ろまふづ
越前郷和 阿佐布豆 朝津

ろゆかは
相模郡和 阿由加波 愛

ろまがへる
虫ノ和 阿末加閉流 蛙

ろをむ

ろぢきも
甲虫ノ和 葦原蟹 蟛蜞

そ

そまさへ
訓ノ 剰

そまのごのは
天河ノ河の訓加部ふあり 銀漢

そまふづ
越前郷和 阿佐布豆 朝津

そゆかは
相模郡和 阿由加波 愛

そまがへる
虫ノ和 阿末加閉流 蛙

そをむ

そぢきも
甲虫ノ和 葦原蟹 蟛蜞

こ

こまさへ
訓ノ 剰

こまのごのは
天河ノ河の訓加部ふあり 銀漢

こまふづ
越前郷和 阿佐布豆 朝津

こゆかは
相模郡和 阿由加波 愛

こまがへる
虫ノ和 阿末加閉流 蛙

こをむ

こぢきも
甲虫ノ和 葦原蟹 蟛蜞

ご

ごまさへ
訓ノ 剰

ごまのごのは
天河ノ河の訓加部ふあり 銀漢

ごまふづ
越前郷和 阿佐布豆 朝津

ごゆかは
相模郡和 阿由加波 愛

ごまがへる
虫ノ和 阿末加閉流 蛙

ごをむ

ご

増補古言梯

六帖三鯉ごどりのそこにすむねどこひとのさまざまでいどころ綾〳〵ざるうるを

春云古書に水際の石あるをも石のべを伊曽といへり

五九ウ 伊乃糸

夢と古へはゆめのみといへり

時

いづ 嚴ン 古伊 都紀同 **稜威**

いづいで 國ン **伊豆**

いで 發語ン 紀 異提 **猒乞** 又乞

いざ 古伊奢 紀同 **率** 又去來

いつ 万以都 詔伊都之何 **何**

いな 嘶ン 紀伊祢 万同又伊奴。古事 渥万 爲祢ケあるハ異ことあり

いしは 石ン 古伊斯 紀同 又古紀万伊波

いは 大石ン 古紀 万伊波 **磐** 又岩

いそ 水際の石ン 古 万伊猟 字同 **磯**

いへ 人の居処ン 古 伊幣 紀万同 **家** 宅

いほ **庵**

いを 字伊 乎 **魚**

いら 小草生刺 字和伊良 **苛**

いろ 色

いき 古伊岐 又 於キ岐 **息** 又氣

いく 古伊久 紀同 **幾**

いくさ 万以 久波ヤ有 **生**

いくゆく 万伊 加婆 **往** 又行

いひ 食ン 紀伊比 字 炊を伊比加之久ノ **飯**

いく 字和 伊乃 **糸**

いく 辞ン 万 伊等 **痛** 又寂 大甚

いたる 木を折たるン 古伊 **市**

いち 物を賣買処ン 古伊知 和同

いへ 伊幣 紀万同 **家** 宅

いほ **庵**

いを 字伊 乎 **魚**

いら 小草生刺 字和伊良 **苛**

いろ 色

いき 古伊岐 又 於キ岐 **息** 又氣

いく 古伊久 紀同 **幾**

いくさ 万以 久波ヤ有 **生**

いくゆく 万伊 加婆 **往** 又行

いひ 食ン 紀伊比 字 炊を伊比加之久ノ **飯**

いく 字和 伊乃 **糸**

いく 辞ン 万 伊等 **痛** 又寂 大甚

いたる 木を折たるン 古伊 **市**

いち 物を賣買処ン 古伊知 和同

いへ 人の居処ン 古

勇雄下ニ注

和以久知 兎鉄

いひぼいをゑ 字贅し小貝脫伊比保和以比保又以乎米註手足邊忽生如ニ豆鹿臙於肉也ヲ いひぼハ常ニいぼ いとゑハ常云いとの約

脫 又疣

いつる 飛鳥を射ル弓 和以都留

小蟹し字 伊年支 蛸

いかひ 貝し和 伊加比 貽貝

そー 小魚し字伊和志和同 鰯

いぐひ 魚名し出雲風土記伊具比

けす 和以介須註池中編竹籬養魚 籔

いちび 草和以知比註今編菌為行纏 茵

又櫟

いたひ 木字伊太比和同 折傷木 又木蓮子

いちごいちびこ 草紀遠菓訓伊致寐姑字藨又盌訓同 和覆盆子訓以知古いちびこハもゝから 覆盆子

いるか 大魚字伊留加和同 鯨鯢

いさり 捕魚し方伊射里 漁

いぬえ 草和以奴衣 香菜

いまず 海菜し

いくり 良之 息

いたち 小獣和以多知 鼬鼠

いむき

いつる 飛鳥を射ル弓 和以都留 弋

いひぼいをゑ 字贅し小貝脫伊比保和以比保又以乎米註手足邊忽生如ニ豆鹿臙於肉也ヲ いひぼハ常ニいぼ いとゑハ常云いとの約

和以久知 兎鉄

勇雄下ニ注

和以支須 海髪

いさを 蒐宴哥夷装鳥 勇雄

いさご 細石し字伊佐古和同 砂

いはほ 高大石ヲ方伊波保字和同 巖

いは

や 石屋し和伊波夜 窟

いづみ 出水の略 泉

いづみ 國し和以都美 和泉

いほり 菴居し方伊保里 廬 又菴

いがき 神籬し方伊垣 齋籬

いらか 屋棟し和伊良加 甍

いか

り 駐馬具し和伊加利 碇

いかだ 和以加太 筏 小曰桴

いがた 和伊加太註鋳鐵形也 鎔

いく

いびら 鞦馬具し和伊俾良 杏葉

いぐむ 挙し古伊杼美 挑

いかる 字伊加留 怒 又恚 佷

い

さ 戦ク和騰簡を以久佐乃不祢戦船也ヲ 軍

いはひいはふ 紀怡破毗方祝同 齋 又祝

いのる 方以乃良波加字伊乃留竟宴哥同 祈 又禱

いまゐ 古伊麻須紀方同 在

いやー 方伊也之伎字同 賤 又卑鄙

かー 紀伊簡之祝同 嚴 又重 茂

作酒を紫と一(ツ)て沽計(ウリ)をするをそしりて イラシハいふ(ヒ)ー同ー(ジ)く其利よ母(モ)ぐるうら(ヒ)

万一 五十日太(カ)

いさゐハ忌ー(ミ)ヲ出

いさふ 字伊 左不 叱

いつゝ 數ゝ 仏足石哥 伊都と 和五穀を 以都々乃太奈豆毛乃 五

いぶひいぶかふ 万 伊等布 仏足石哥 同 息

いかゞ 紀以柯 伊万同 如何

いづく いづこ 古伊豆久 万同又伊都 知古本神樂哥伊都古 何處 いづセハ 何路ゝ

いづれ 万伊 豆礼 何

いやま 万伊 ヲ末

いかに

たる 古伊多 流万同 至

いづる 万伊 流和同 出

いまだ 古伊麻陀 紀万同 未

いよゝ 万伊 余与 彌

いざち 哀声ゝ古 伊佐知 哭

いぬる 寐 二言ヲ出 往

いぬる 万以 奴留 往去

いたゝいなゝき 古 痛手を 以多 豆紀同 万伊多

いなむいなかぶ 不ル 受ゝ

いさむ 万伊佐義 字 勇 竟宴哥同

いそぐいそゝく 万已(イ)蘇使又 伊蘇波久 急

いさる 字伊 左留 笘

さむ 字伊 佐牟 諫

いそぐ 頭垣ゝ 和加之良乃安 加又伊呂古常いろこと云 雲脂

いろこ 詔伊 奈備 舜

いなば 國ゝ和 以奈ハ 因幡

いはみ 國ゝ和 以波義 石見

いづも 國ゝ和 以

いさは 甲斐郷ゝ 和伊佐波 石禾

いそね 信濃郷ゝ 和伊曽乃 竿井

いそふ 丹波郷ゝ 和伊曽布 石生

いくた 越後郷ゝ 和以久礼 勇禮

いなほ 武蔵郷ゝ 和伊奈保

いむみ

いぶき 豆毛 出雲

いぐは 國ゝ和 以天波 出羽

いなさ 遠江郡ゝ 和伊奈佐 神武紀哥伊那瑳ハ大和也 引

いひぼ 播广郡ゝ 和伊比保 揖保

いかの 讃岐郷ゝ 和伊加乃 生野

いくは 淡路郷ゝ 和以久波 育波

いなづま 和伊奈豆万 又五言ニ出 電

いかづち 仏足石哥伊 加豆知 和同 雷

佐 いさ 播广郡ゝ 日和伊奈義 印南

いよ 安藝郷ゝ 和伊比乃 入農 農古ハ奴の假字ゝ 乃ヲ用ルハ後の訛

の 筑前郷ゝ 和伊無義 生見

稻直

四言

春云豊農と乃の假字ヲ用るハ通音ゝ後のことなれど訛はあらず

もの名ヲ云ハ假字もかゝりうけ多く又ぶと書さるとむと唱る多一附言の標註はかゞりと書てかむとよむとふぶひすべく倣ゝといへるハいづれや既ニ表部ヲをゝ終をゝと唱ゝくるりと一例なりやのごや

典云いなびいなみいもおいなむなどのおもハヒフヘホの濁音をバ多くてミムメモふかゝりこゑも本音便ふくろきくふ唱る

增補古言梯 全

字 伊奈久

いざもぐき いざもみ 神号ノ古伊邪那岐、伊邪那美紀同

いもうと 女子後生ノ和 伊毛宇登

いかるが 丹波郡和 伊加留加 何鹿

いへばと 鳥ノ字伊倍 波登和同 鴿又鳩

いかるが 鳥ノ紀伊

いちひさよ 柯屡餓万 字和同 斑鳩

いかるが 鳥ノ和以 比登与 鵤 鸛

いひし 虫ノ和伊 比阿里 赤蟻

いへにへ 祭の具和 伊計仁倍 犠

いらむし 虫ノ字 伊良虫 蛭

いへにへ 馬鳴ノ和 以奈ト久 嘶

いけにへ 魚甲ノ和以呂 久都又伊呂古 鱗

いろくづ 魚ノ和伊 之毛知 鯵

いしぶし 魚ノ和伊 師布之 鮖

いがめ 山中亀ノ和 伊之加米

いしぐち 草ノ字伊太 登利和同 虎杖

いぬたで 草ノ和伊 奴多天 紅草

いはぐみ 草ノ和伊波久 美又伊波古介 巻柏

いはぐえ 万伊波 久敷 岩崩

いはごけ 草ノ和伊 須岐 商陸

いもがらいも 芋莖ノ和以モ 加良又以モノ 蔵

いたぐき 頭上ノ万伊多太 伎与 字和同 頂戴

いたぐき 杜下石ノ和都義 以之又以之須恵

いはぐみ

いたづき 労ノ拾遺哥集 上の平聲筋を添

いちぐら 市舎ノ和 伊知久良 肆

いりも

いたづき 和以太都岐注出 今之戯射箭也 平聲筋

いちのち 和以之乃知注出 倫中国英賀郡 鍾乳

いしずゑ 礎

いはぐえ 万伊波 久敷 岩崩

いたぐき 頭上ノ万伊多太 伎与 字和同 頂戴

いたづき 労ノ拾遺哥集 上の平聲筋を添

いちぐら 市舎ノ和 伊知久良 肆

いりも

いそしきさほし 紀伊称思 続紀文徳実録 同い さほしも佐保の約言にて同 功勲

いたはる 伊多波斯 紀 伊等保旨弥 労

いたづら 空ノ万 多豆良 徒

いやちこ 万伊弥之敝 古

いたはる 伊多波斯 紀 以耶知 労

いやちこ 紀以耶知 知幸 灼然

いなむし 字蛍と豆

いぬなむ

いしぶし 魚ノ和伊 師布之 鮖

いしぐち 草ノ和伊 登利和同 虎杖

いぬたで 草ノ和伊 奴多天 紅草

いがめ 山中亀ノ和 伊之加米

いしぐち 草ノ字伊太 登利和同 虎杖

いぬたで 草ノ和伊 奴多天 紅草

いはぐみ

いをす

いたづら 空ノ万 多豆良 徒

いたはる 伊多波斯 紀 伊等保旨弥 労

いやちこ 万伊弥之敝 古

いたづき 労ノ拾遺哥集 上の平聲筋を添

いちぐら 市舎ノ和 伊知久良 肆

いりも

いたづき 和以太都岐注出 今之戯射箭也 平聲筋

いちのち 和以之乃知注出 倫中国英賀郡 鍾乳

いしずゑ 礎

いはぐえ 万伊波 久敷 岩崩

いたぐき 頭上ノ万伊多太 伎与 字和同 頂戴

いはごけ 草ノ和伊波久 美又伊波古介 巻柏

いはぐみ

いもがらいも 芋莖ノ和以モ 加良又以モノ 蔵

いはぐみ

いをす

いへにへ 祭の具和 伊計仁倍 犠

いへばと 鳥ノ字伊倍 波登和同 鴿又鳩

いもうと 女子後生ノ和 伊毛宇登

いかるが 丹波郡和 伊加留加 何鹿

いかるが 鳥ノ紀伊

いちひさよ 柯屡餓万 字和同 斑鳩

いかるが 鳥ノ和以 比登与 鵤 鸛

いひし 虫ノ和伊 比阿里 赤蟻

いへにへ 馬鳴ノ和 以奈ト久 嘶

いらむし 虫ノ字 伊良虫 蛭

いへばと 鳥ノ字伊倍 波登和同 鴿又鳩

いかるが 鳥ノ紀伊

いもうと 女子後生ノ和 伊毛宇登

いざもぐき いざもみ 神号ノ古伊邪那岐、伊邪那美紀同

いたぐき 頭上ノ万伊多太 伎与 字和同 頂戴

イソタケイソシ又ハシ云
（一統日本記ニ勤臣ヲイソシノオミトイヘルコトモアリイサヲトモ
ハ必勇雄ノ心ニイサヨレクハ勇雄ラシ
○宇津保物語俊蔭巻ニイカヾサセン天ノツキテヤラヒキ山ニアルフモトニイカヾセンヤキアシトヲシテ
ハカヽル是勇雄ラシキ心ヒ也
いでや勲功ラシきゝとせん
春云万十一廿三言借見又二書哥ニ伊布可之美ト有気振ラシ出ルヲモシ心得ベ
与云俊頼ニ傳世五段ニ
ラシカヽルソヲモヘルヌカシヤイカヽセンヒトヽ
ヤハラヽ哥ニハ見ヲモラフラシ
いさゝハ否の義ニ清て

増補古言梯標註

いつはる
字伊豆 波当 **僞** 又俟

ぶかるいぶらし
（ブカシ）不審ノ此語モ（ブリ）気振ラシ出ツ訝ノ意トアルハ指ン

いぶせしいぶせき
方越夫 勢美 **欝悒**

いぶなひいぶなふ
いぶなもる

いぶせ
方伊射奈比語字同 **誘**

いぶかしいぶかる
百伊佐用布 **猶豫**

いぶかしいぶかー
（イブカシ）勤モ同意 **悶**

いへども
紀易倍迺モ語同 **雖**

いはむ

いぶせ

いぶすき
薩ア郡和以夫須岐 **揖宿**

いぶり

いぶかひいぶかふ
いぶかもる

いぶかし
方伊佐左可尓 **聊**

いぶさ
方伊佐佐米 **卒**

いぶせ

いぶなひいぶなふ
いぶなもる

韋

波久須利又須久奈比古乃久須祢 石斛

いはろかいはくみ
草之和以多知久以波久美注其葉如皮 石

いたちぐさ いたちはせ
草之和以多知久佐又以太知波勢 連翹

いなびか

いちごろく
万伊知之略久 灼然

いちはや

いらなげ

いさびほる いさびろ
紀異称迹

いさびろ

いそのかみ
大和郷之紀伊須部箇涙和伊曽乃加美 石上

いつ
盛衰記最

いつきーま

いろこおもて
医心方以日古於毛天 飼面 面皮上有沢下如米粒者也

いぬかひぼー
星之和以奴加比保

いぬのたまひ
犬吠之和以奴乃太末比

いねつきこきろ
虫之和以祢豆支古万呂 螽

いたちは

いくはがころ
射藝具之和以久波七古路又阿無豆知 射楉

いもせうと
妻の姉妹之和伊毛之宇刀免 姨

いもうと
之又比古保之 犀牛

いつかみ
木之和以多知波之加美又保曽支 蔓椒

いなばふせぎ
鳥之和以奈於保世度里 不保遍 稲負鳥

きのみや
和以豆岐乃美夜 齋宮

斯虫

与云貫之自筆古今集いれおほせとり

典云いかおほせをふとそ云一毒くそ

○宇部

一言

う

于。宇。汙。紆。烏。有。雲。禹。羽音

得。卯。兎訓

増補古言梯標註

春云馬と牟麻梅を武米と云ること万葉にもおほく見えたり此後の轉ること既に詳に論じたるが如し天暦の比までは古言なほ万十五字々流

春云詩を轉じてむべとらふることも既に古一説にあり皆万部子の字と用ひたり

二言

うま
紀宇慶万同 此外に牟麻と云ふも皆字を牟に誤れり 馬

うを
古宇表紀万同 此外にも云ハ後の訛なり 魚

うじ
虫之古宇 土字同 蜡

うる うう
草木を植ることハスベて云古宇惠紀万同古本風俗哥宇和流 殖

うら
蔓艸之和字利 古本催馬乐同 凪

うる
木之万烏米和同万一本牟梅作るハ字を牟に誤 梅

うり
飯を飢神武紀腰怒推古紀伊比介惠 飢又饑

うず
蒼蠅者古宇受紀同 髻華

うぢ
氏之因山城郡宇治を借て書て姓又氏和讃岐郷氏部と宇治倍作るも 姓又氏

うひ
万宇比又古今物名 初

うへ
捕魚竹器之和宇倍 筌

うは
古宇閇紀同又羽播

うち
紀珍訓于圖

水迎之因宇頭をほ 渦

山城郡之和宇知 宇治

上

うへ
古紀詔宇倍又紀宇毎 諾

三言

うなゐ
童の髪を垂之和宇奈爲 髫髪

うはを
和宇波乎又伊万乃乎宇乃 後夫

う
十一

神功紀曰時人號其産呼曰宇涙也古事記為生成國土注訓生宇牟

宇鏡恨 萬妙又伊支多弥宇 度俣国又伊礼乃

うるべしと体言なるべし

表門

うれひ うれへ
上野郡万宇須比和同 雨氷

うれふ うれる
三代実録憂礼比 憂又忡愁

うれ
甲斐郷和宇波土

うつほ
和半天河と水乃宇豆保乃美豆 空

うばふ うばる
強て取之万有婆比字宇波不 奪

うち
万笛の約無免笛も同 産生

うかひ うかふ うかる
字加夫 浮

うたへ
貴上同和刑部省と宇多倍多と須都加佐 訴

うなゐ うなふ うなる
訝声古宇多比紀同 歌

うけひ うけふ
誓約之祈咒咀之古

うま
うまら
万宇万良和常陸郡茨城と宇

うばら
鳥之宇豆良和同 鶏

うなゐ
頸後宇宇奈自和同 項

むぢ
波良岐 荊又茨

むぢ
古宇麻良紀于麻師又于魔伊祢于磨佐開あとの宇気比又宇気布紀詔同 可美可怜又旨

うまら
万宇万良和常陸郡茨城と宇

うまし
海塩紀于之良和同 潮

うまし
和宇知波 團扇

うま
う

四言

うはおり 古宇波那 理紀 和同 後妻

うぐひす 鳥之因于具比須 古今物名 和同 鴬

うまぐは 農具之和 宇麻久波 馬杷

うまび 馬飼之紀 于麻柯比 典馬 和名 人

うまら 万宇須 良婢 薄氷

うはがひ 衣の前之 宇宇波加

うやまひ 伝足石哥宇夜 麻比 又謌礼ま比 恭

うるほひ 宇宇留保須 潤 又潤

うしなひ 三代実録 失比

うつろ

うかがひ 古宇迦之波久 紀于介 伺 又窺

うづまさ 氏又山城地名 紀秦訓禹 豆麻佐 又禹豆毋利麻佐

うるひ

うまは寸 万宇都比 古事神乎哥同 移

うまはし 打延之 新万 打蝿

うたがひ 比不 倍通 疑

うらふの 日向郷和 宇利布乃 瓜生野

うたがひ

うちはへ

うるはし 万宇都比 古事神乎哥同 美

うすらひ 万宇須 良婢 薄氷

うまやまひ 万宇夜麻比 又謌 驕

うるほひ 諸万謌宇豆奈 比祝宇豆乃比 潤 又潤

うつろ

うかがひ 古宇迦之波久 紀于介 伺 又窺

うるひ

うまは寸 古宇流波 斯紀 万同 美

うまぐは 農具之和 宇麻久波 馬杷

うはがひ 衣の前之 宇宇波加

うまび 馬飼之紀 于麻柯比 典馬 和名 人

うぐひす 鳥之因于具比須 古今物名 和同 鴬

**うまら

古語拾遺 姓字豆麻佐

万十五 宇思奈波受

与云以部の標注なるいつる如くなてくまき寸八利と得るつをそくく語く

与云灵異記二妹于前八之又敬

四言

ゆ 草ノ和字 万比由 **馬莧**

まかひ 馬飼ノ紀 于麻柯比 **典馬** 和圏 人

うはもり 古宇波那 理紀和同 **後妻**

比 祇

うまはす 灵于万波志又云毋寸 **利**

うすらひ 万宇須 良婢 **薄氷**

うまぐは 農具ノ和 宇麻久波 **馬把**

うはがひ 衣の前ノ 宇宇波加

うまび

うぐひす 鳥ノ万于具比須 古今物名和同 **鶯**

うるはし 古宇流波 斯紀万同 **美**

うるほひ うるほふ 宇宇留保須 **潤** 又潤

うやまひ うやまふ うやまろ 仁足石哥宇夜 麻比ろ詔礼ま **恭**

うつろ 諾万詔宇豆奈 比祝宇豆乃比

うるひ

うしなひ うしなふ うしなろ 三代実録 失比

うかがひ うかがふ うかがろ 古宇迦ノ波又紀于介 伽甲豆宇加ノ不 **窺** 又伺

うづまさ 氏又山城地名紀泰訓禹 豆麻佐又禹豆毋利麻佐

うるひ

うたがひ 万宇都加比 **疑**

うらなひ うらなふ うらろ 吾本神乎哥同 **移**

うつぼ 打延ノ 新万打蝿

うち 上総郷和 宇留比豆 **濕津**

うりふの 日向郷和 宇利布乃 **瓜生野**

うたがひ

うぐひすのいひ秫 末ノ和宇 久比須乃

うび

うばらぐつと 鞍馬具和宇 波良具都和 **蕨藜**

うづくまる 和宇尾 宇都波毛乃 **踞**

うつはもの 和尾器ノ須恵 宇都波毛乃 **器**

うづくまる 宇豆ハ紀 禹豆麻佐

うへのきぬ 和宇倍乃 岐奴註着ル 宇衣ノ上副也 宇波於曽比 **褊**

うまさたー 草ノ和宇 末支太之 野菜和宇 末不々岐 **牛蒡**

うまふさき 宇都比豆 **鰹腸草**

うはねそひ 宇波祢曽比

うつはもの 和尾器ノ須恵 宇都波毛乃 **器**

うばらぐつと 和宇比太比太比和同宇又太豆乃比介 石龍芮宇牛乃比太比和布加豆美宇同 石龍蒭宇牛乃比太比和布加豆美宇同

うぐひすのいひ秫

うび

たひのうま 和宇比太 非能宇麻 **戴星馬**

うぐひすのいひ秫

うび

うち 衝

うたがひ 万宇都加比 **疑**

うらなひ うらなふ うらろ 比不 倍通

うーはく 領ノ古宇志播吉 万牛吐又牛掃

うらなひ うらなふ うらろ 吾本神乎哥同 **移**

うつぼ 打延ノ 新万打蝿

うち 上総郷和 宇留比豆 **濕津**

うりふの 日向郷和 宇利布乃 **瓜生野**

うたがひ

うらなひ うらなふ うらろ 比不 倍通

うーはく 領ノ古宇志播吉 万牛吐又牛掃

うらなひ 十合也 **十占**

うたがひ 万宇都加比 **疑**

うらなひ うらなふ うらろ 吾本神乎哥同 **移**

うつぼ 打延ノ 新万打蝿

うち 上総郷和 宇留比豆 **濕津**

うりふの 日向郷和 宇利布乃 **瓜生野**

うたがひ

五言 至十言

うまふさき 野菜和宇 末不々岐 **牛蒡**

うはねそひ 宇衣ノ上副也 宇波於曽比 **褊**

うつはもの 和尾器ノ須恵 宇都波毛乃 **器**

うづくまる 宇豆ハ紀 禹豆麻佐

うへのきぬ 和宇倍乃 岐奴註着ル 宇衣ノ上副也 宇波於曽比 **褊**

うまさたー 草ノ和宇 末支太之 野菜和宇 末不々岐 **牛蒡**

うまふさき 宇都比豆 **鰹腸草**

うはねそひ 宇波祢曽比

うつはもの 和尾器ノ須恵 宇都波毛乃 **器**

うばらぐつと 和宇比太比太比和同宇又太豆乃比介 石龍芮宇牛乃比太比和布加豆美宇同 石龍蒭宇牛乃比太比和布加豆美宇同

うぐひすのいひ秫

うび

たひのうま 和宇比太 非能宇麻 **戴星馬**

うぐひすのいひ秫

うび

うち 衝

うたがひ 万宇都加比 **疑**

うらなひ うらなふ うらろ 比不 倍通

うーはく 領ノ古宇志播吉 万牛吐又牛掃

うらなひ 十合也 **十占**

うたがひ 万宇都加比 **疑**

うらなひ うらなふ うらろ 吾本神乎哥同 **移**

うつぼ 打延ノ 新万打蝿

うち 上総郷和 宇留比豆 **濕津**

うりふの 日向郷和 宇利布乃 **瓜生野**

うたがひ

うらなひ うらなふ うらろ 吾本神乎哥同 **移**

うつぼ 打延ノ 新万打蝿

うち 上総郷和 宇留比豆 **濕津**

うりふの 日向郷和 宇利布乃 **瓜生野**

うたがひ

うらなひ うらなふ うらろ 吾本神乎哥同 **移**

うつぼ 打延ノ 新万打蝿

うち 上総郷和 宇留比豆 **濕津**

うりふの 日向郷和 宇利布乃 **瓜生野**

うたがひ

うらなひ うらなふ うらろ 吾本神乎哥同 **移**

うつぼ 打延ノ 新万打蝿

うち 上総郷和 宇留比豆 **濕津**

うりふの 日向郷和 宇利布乃 **瓜生野**

うたがひ

続後紀 凝布 宇同

濱云うづくまるの證左ハ宇豆麻佐宇豆ハ幣帛ハ證ともしかるかんねの也ハ古事記ふるぐひて宇須受麻里とかるく校訂の外ふも證あるべし

春云宇須受麻里ハ誤字ふあらび須と豆と通ふうう古言ふ例多し

うぐひす 鳥之和于具比須 古今物名和同 鶯

うまぐは 農具之和 宇麻久波 馬杷

うまび 伝足石哥宇夜 麻比豆詔礼ま 比 恭

うはがひ 衣の前ゝ 宇波加 宇

うやまひ うやまふ うやまろ 宇宮曲 保須 潤 又滬

うるほひ うるほふ うるほろ 万宇須 良婢 薄氷

うかがひ うかがふ うかがろ 古宇迩之波久紀于介 伽甲豆宇宇加之不 窺 又伺

うづまさ 氏又山城地名紀秦訓禹 豆麻佐又禹豆毋利麻佐

うつろ 諾万詔宇豆奈 比祝宇豆乃比

うつをひ

うるひ

うたがひ 日向郷和 宇利布乃 瓜生野

うつぼの 上合 占 也 十

うーはく 須之古宇志播吉 万牛吐又牛掃

うまおきたー 草之和宇 末支太之

うへのきぬ 和宇倍乃 岐奴註著

うづくまる 宇豆ハ紀 禹豆麻佐

うばらぐつと 野菜和宇 末不々岐 牛蒡

うはぎ 衣上副也 宇波於曽比 褊

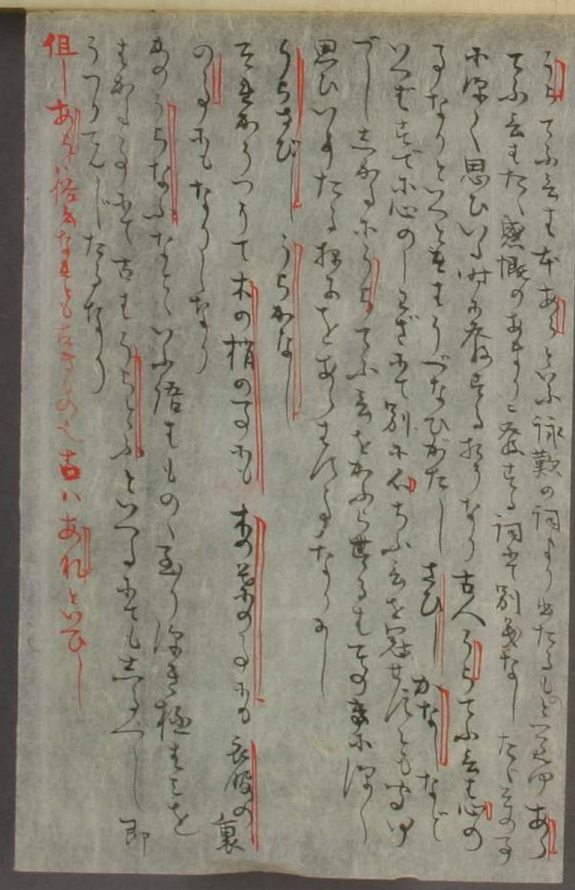
うつぼ 和瓦器之須恵 宇都波毛乃 罌

うばらぐつと 鞍馬具和宇 波良具都和 蕀藜

うび 末之和宇 久比須乃

うぐひすのいひ秣 石龍蒭字牛乃比太比和同字又太豆乃比介 石龍芮字牛乃比太比和布加豆美字同

うまびと 馬主



以比称又久佐支乃称

うたまひのつかさ

官名 和 字多倍多々須都加佗又伊勢郷 刑部ふハ於佐加倍りけり 刑部省

うたへたぐすつかさ

官名 和 字多倍多々須都加佗又伊勢郷 刑部ふハ於佐加倍りけり 雅樂寮

まらふをやらふるかみ

紀 于覺羅你烏野羅甫屡柯倭 美飲喫哉

一言

え

衣。延。要。曳。依。叡。哀。埃。愛音 兄。江。荏 和 衣 榎。枝。柄。

二言

えひ

字 衣比注 編平魚 鯌

えひ

和 衣比注 青長鼻骨者也 鱣

えび

和 衣比注 俗用海老二字 鰕

〇延部

一言

え

柯。得。吉。善 訓

可愛 二字一言 紀 哀

仏足石哥和礼波衣美須旦云〻

上のえひハ今のあゝえゝのゐて次のえひのおう

おさべ本ありうく云ハ後

黒河直頼先生曰枝の知乃假字ハ夜行の也古書ニ縁或ハ廻字等をえの假字ニ用ゐたるふてしく

字 衣也三又左牟也 弥老瘡也

疫の字音ちうべくれ ぜあゝく 挙

えだ

手足〻 和 衣太 肢

えだ

楊〻 古延 陀 紀 万同 枝 又條 柯幹

えぞ

古言ふえゝ 紀 愛派詩の訛語あん 蝦夷

え

三言

えをぢ

父の兄〻 字 衣孚地 阿伯

えみし えびす

紀 愛派詩〇えびすハ美や備志や須通 蝦夷

えた

加賀郷〻 和 衣多 英太

えやみ

和 衣夜美又登岐乃介註 民皆病也〇此えやみのえハ疫の字音ある〻けなべとべ 疫

えらび えらみ えらぶ えらぐる えらもち

原順哥ふ甲子ともゝしきのえらひ

えくに

伊勢郷〻 和 衣久介 兄國

えびす

草〻 和 阿夜米太無又衣比須祢 地楡

えやみ

えぶり

農具〻 和 延布利 註把之無歯者也 杓

えひる

つえ

屋具〻 紀 哀 都利 和 同 藺蓳 和 楼

えびら

和 衣比良註 養蠶器也 蠶簿

四言

え免む

字 衣 米虫 蛔

三言

えをぢ

近江郡愛智 和 衣知 遠江郷依智 和 同上

えの

薩摩郡〻 和 延乃〻 穎娃

ち

四言

え免む

三言

えをぢ

えの

ち

又

夷

つえ

えびら

えやみ

えぶり

えひる

えくに

えびす

えた

えぞ

え

三言

えみし えびす

えやみ

えらび えらみ えらぶ えらぐる えらもち

えくに

えびす寸祢

草〻 和 阿夜米太無又衣比須祢 地楡

えび寸祢

草〻 和 阿夜米太無又衣比須祢 地楡

えぶり

えひる

えた

えぞ

え

万十二 於毛求覽

父の凡學とゝぢとゞバ𠰁ゑゝ小父小母みそ假字別ゝ

鬼字ハ万ゑをゝ𠰁もの𠰁ゝ訓のゑ

もるともれゑづけ𠰁ゑ老附

二言

おや 紀於夜 万同 **親**

おバ 字和於波 ○大母の略 **祖母**

おみ 古於美 紀同 ○臣下ゝ又加婆祢

おて 紀於 ○名又加婆祢 **使主**

おも 紀於暮 万同 **母**

おも 万於 毛 **面**

おち 字於地 ○天父の略 **祖**

おき 除置ゝ万於伎ゑ **置**

おき 國ゝ和於岐 **隱岐**

おき 古於岐 紀万同 **帶**

おき 古於岐 万意久 **奥**

おき 古於斐 万同又於布 **生**

おき 紀於 万同 **起**

おき 古於伎 紀万同 **息**

おき 古於伎 **熾**

おき 古於伎 **燠**

おき 古於伎 **埋火**

おき 古於伎 **沖**

おき 古於伎 **澳**

おき 古於伎 **隱岐**

おき 古於伎 **置**

おき 古於伎 **興**

おき 古於伎 **起**

おき 古於伎

と書ハベラズ

おひれふ 万於比 **追**

用又山城郡乙訓和於乃久途乙

おる 古淤呂須波多、呂須の約流、和体 **織**

おち 古意富紀同 **大**

おと 万於登 新万同 **音**

おとめ 紀とを於少女と後世乙女の假字ハ誤リ遠

おとめ 万於登賣 少女ハ誤リ遠の假字ハ誤リ遠

仏足石哥於豆恐シ

おとろ 万於登呂 おとろと獨リ立ツ事も假字もおなじ

濱臣古今普物語巻廿二ノ譯リ心ニテ又譯リノ餘ニ

增補古言梯 巻五

ほ

ほみ 古於母比又意 母布紀方同 **思**

ほこ 方於呂之和卸鞆 とも良於呂須 **卸**

ほる 又於夜自 同

ほこ 方於佐倍 **押**

ほそる 宇於曽流 恐又懼

ほこせ 方ハ塩合涙而於已勢多流ノ俗ト云ハ同 **遣**

ほこり 大ほこりの意あり 奢

ほこ 方於許之 **起**又興發

ほくも 方於久理和同 **贈**又送

ほくる 仏足石哥於刀礼留 竟宴哥於刀良之 **劣**

ほそ 字於曽志和驚と於曽伎宇馬 **遅**

ほなだ 方於久礼 **後**

ほそへ

ほひ 大御代ヲ古ヘ大御哥ノ云ヒ 皆同紀於朋涼仏足石哥同

ほき 古於幣理同字慢覆と奴利於保不和車具幣俠と久飛於保比 **覆**

ほろ

ほもひ 方於保伎 **多**

ほもふ

ほろ 凡

ほろ

ほろ 方於 **麻**

ほろ 方於 **麻**

ほろ 方於 **麻

古本催馬樂哥於止牟須女

續紀於毛夫氣

ほきみ 古意富岐 美紀 万同 大君

そぢ 祖父の兄弟ミ 和於保乎知 従祖父

ほおば 祖父の母ミ 和於保於波 曽祖母

をぢ 祖父の弟ミ 字弟乎地 和於保乎知 阿叔

婦

おほよめ 次子の妻ミ 和於乃与米 娣婦

をよづま 老附ミ妻たいの條ゑ

をぐひ 字於乃加比 和同 頷

おもがげ 万於毛可宜 面影

おもぬく 面旬ミ

おもかぢ 面向ハーきさミ 竟宴哥於牟迦比と於モ我志ヤ訓るも同 同註悦ミ奇ミ

おもなる 顔面とも訓バ於の

おもなづら 和於保豆米 詐蟹大脚也

走

むかが 俗字疑あー 阿容

おほやり 和於保之加 詐傀而大者也 麋

おほだら 木ミ和於保太良 食茱萸

おほぜり 草ミ和於保世利 古本催馬樂哥於當歸とも訓 大芹

おほなむち 草ミ字於保波古和同 車前

おほばこ 草ミ和於保之久佐 玄参

おほばら 草ミ字於保 比留 和同

おほかみ 獣ミ和於保加美 狼

おほかみ 水草ミ秋冊子面高の意よりへり和奈末爲 澤

おほなみ 草ミ和於 食茱萸

おほなぐさ 草ミ和於保美良 薤

おほむぐら 草ミ字於保 波古和同 車前

おほなぐさ 草ミ和於 玄参

おほなぐさ 草ミ和於保 茶

おほなぐさ 草ミ和於保 大蒜

おほなぐさ 草ミ和於保 瀉

おほなぐさ 草ミ和於保 菜

おほなぐさ 草ミ和於保 洪鐘

おほなぐさ 草ミ和於保 大芥

おほなぐさ 草ミ和於保 於期

おほなぐさ 草ミ和於保 澤

おほなぐさ 草ミ和於保 於

おほなぐさ 草ミ和於保 虎子

おほなぐさ 草ミ和於保 柳

おほなぐさ 草ミ和於保 鼈頭

おほなぐさ 草ミ和於保 檻

おほなぐさ 草ミ和於保 墓

おほなぐさ 草ミ和於保 弩

志

志 字於米 虫和同 蚵 和虞 虫

保恵美ヲ志ミの処ゟ奉ー 黄精

保乃知和於保都知 茶

保恵美ヲ志ミの処ゟ奉ー 黄精

保乃知和於保都知 茶

和於保 都保 虎子

葵具ミ和於保土古註周揩者也 柳

和於保 都保 虎子

葵具ミ和於保土古註周揩者也 柳

字於波志 万和同 檻

万於久 都奇 墓

馬具ミ和於毛都良 鼈頭

尿の墨ミ

戯具ミ和於保由美 弩

地布古言梯梧

おびかは 帶革ノ和 於比加波 鞢

おびもの 和於利毛能又加無 波タ註似錦而薄也 綺

おびやかす 紀於波也加須 和冠乃平又保ム 須ケ又於以加計 脅

おほみき 古意富美 岐紀同 大御酒

おほやけ 和冠カムリノ乃平又保ム 須ケ又於以加計 公

おぼほし 紀於保保志 和於保保之 朧

おぼろく 字於度 呂久 朦

おびや 紀於虚奈比 続後紀行布 帯

おびやかす 続紀於太比 弐祭文 同 おだやかと同

民

凡大通一用

おほみたから 字於保於保地和同 曽祖

おほおや 已暗(オノヅカラ)也 自

おほおよび 大指し和於保於与比 拇

おほおみ 和於須賣度里 護田鳥

おほかたち 和於比之波利註腰左右廬肉處也 膸

おほかみ 氏し古凡河内紀大河内是同氏をゝ

おほきさき 和於之万都岐 儿

おほねぎみ 和於保宇波 凡海

おほやけ 和於保夜万刀 大和

おほやまもり 國し和於保夜万刀 大和

おもだる 紀於毛之楼択五字同 面白 恠怜

おもほてる 紀忽然作色と訓字於毛保豆留 喟然

おもはゆ 和於比之古之古米註以蜜和米煎作也 粗粉

おもひづま 和於曽賣岐字乃 鴛馬

おもほゆ 万葛英介延於保登礼流

おもひね 自生揩し和於路加於比又比(ヒツ)ヶ豆知 稽

おもはくそ 面黒子し和於毛波々久曽

おもはくのがは 万各寺師志部拾遺物名 おゝ云

おもふ 紀於毋之楼択五字同 面白 恠怜

おもほゆ 紀忽然作色と訓字於毛保豆留 喟然

おもほやまもり 國し和於保夜万刀 大和

春云愕漢文
ありんとそ
ようさる
どもよりの
条の説と
なべてつ
行るぞ

おしろうぶ
分の假字ち
ようさる
ありくは
ちくうの
処るぞ

ら

草和於無 奈加豆良 **苧窮**

七言 至十四言

れにのやぐら 草字於尒乃也加 良和同々波美 **續斷**

みるぐさ 草和於保 美流久佐 **茸蕾子**

おむものいる 和於無毛 乃以流 **馳射**

おぼれ 保

おぼつかなき 万於保 東無 **鬱悒**

れにのぼかひ 式於保登 能保加比 **大殿祭**

おほれ保

ぢもち 曾祖父之兄弟之和 於保於保知乎知 **族父**

万知 岐美 **侍從**

れもぴび水まもちぎみ 同和於毛乃比 乃米宇知岐美 **侍從局**

おもぴび水まもちぎみ 官名和於 毛乃比乃

おほみこ水もちのつかさ 同和於保美古 乃毛知乃司 **太宰府**

おほきみ

むだちのつかさ 同和於保岐 無太知乃司 **正親司**

おほみのつかさ

人察

大炊寮

おほいもひ 和於保比 **大舍**

同和於保乃 利乃豆加佐

れほ〜はでのつかさ 同和於保之 波天乃豆加佐 **大膳職**

れ

ほくらのつかさ 同和於保久 良乃都加佐 **大倉省**

おほいまつりごと 和於保比 **大政官**

水のつかさ 同和於保伊乃 豆利古乃都加佐 **大炊寮**

れほいおほ水もひ 職名 〜和 同和於保万豆 利古乃比乃

おほまつりごと水 同和於保万豆 利古乃比乃

おほいまうちぎみ 同和於保伊毛乃 宇智岐美 **大臣**

おほ

まつりごとのれほまつりごと 同和於保万豆利古 乃乃於保万豆岐美 **太政大臣**

おほまうちぎみ 同和於保伊万 万宇須豆加佐 **大納言**

参議

中納言と奈加乃こ
少納言と須奈伊こ

於保伊於 保乃毛比 **大辨** 小弁と奈加乃こ 小弁と須奈伊ホ

濱云蚓ノ蛇の誤あるべし いふところを見ハ和名抄蛇虫唐韵云蛇蝮蝪蛸同蝪人腹中長虫也病並同 源論玉蛇今按名すべし俗云かはづ又云ひきへび又云飲白酒食生葉等所成也よて今も俗くらゐ虫と吾うて呼来ぬらんと思ハ加伊八田の音と直轉なるべし

字解 色藥乃加比 典云買易語の本ハ一意あるべし

○加部

一言

か 加。賀。架。嘉。迦。伽。可。河。何。荷。珂。柯。舸。軻。訶。歌。甘。間。箇。介 清音 賀 清濁二音

我。俄。蛾。餓。鵝。雅 濁音

歟。鹿。箇。蚊。香。日訓

二言

かほ 人の面ノ万可保 和顔面 を加保波世又保ヶ豆岐 顔 字万女 比目同

かい 虫字 加比 蛙

かひ 虫字 加比 蛺

かひ 國和 加比 甲斐

かひこ 蚕ノ万同 飼養

かひな 肱 字和 加比奈 臂

かひ 貝 万加比 和同

かひ 食器ノ和加比 匙

かひ 稲の穂ノ祝加比 頴

かひ 同 櫂

かひ 物ヲ物と易ノ新万加比 買

かひ 木 和加閇 栢

かへ 木の子ノ和加倍 椎子

かぢ 木綿の木ノ字和加治 穀

かぢ 舟具 万可

かひな 山の間ノ固 峡 加比万同

かひ 舟の具ノ万加伊和 楫

かひ 鳥獣とかゝく固加比紀万同 飼

かひ 舟 新万加波 の辞 子借用和加波

うひかぶ

うひ 海つ物ノ古 加比 万和同 貝

うひ 山の間ノ固 峡 加比万同

うひ

うひ

うひ

春云被物のかづくも同義ニ將
春云東遊譜ニ加係

かは　木ニ和加之波　古本催馬楽同　樺

かしは　流ニ字加　反天和同　鶏頭樹

かしひ　木ニ字　加之比　樣

かぢ　加伊奈註　刈安草　黄草

かぢ　迦豆良　紀字同　葛

かぢ　水苔

かぢ　屋具ニ和　加毛衣　鴨柄

かぢ　和鼎と阿之賀奈倍　釜と赤路賀奈倍　鐺

かぢ　水中を行ニ古　迦豆岐紀万同　潛

かぢ　香気ニ万香乎　薫都　字淑

かぢ　祭方ニ　傍

かぢ　十幹の一ニ金兄ニ　庚

かぢ　万可　藤倍　數

かぢ　万可　本神楽哥同　通

かぢ　万可欲布同

かぢ　万可奈比　奈不　竟宴哥同　叶

かぢ　加波良　河原

かぢ　字加止布　該

かぢ　医心方加波奈　鼻査　鼻面間生醜赤跑迄ニ然

かぢ　近江郡ニ紀　鹿深

かぢ　伊勢郡ニ和加波和　河曲

かぢ　近江郡ニ和加方布　蒲生

かぢ　肥後郡ニ和加波志　合志

かぢ　淡路郷ニ和加之乎　賀集

かぢ　筑前郷ニ和加奈布　金生

かぢ　筑前郷ニ古訶志比紀同　香椎

かぢ　大和倉地名紀伽哆華　庁居

かぢ　上野地名万可　係夜かぬま

かぢ　越前郷ニ和加波比　川合

かぢ　飛驒郷ニ和加支倍　高家

かぢ　甲賀

かぢ　和加久布　圍榑

かぢ　國又郷ニ和加布知　河内

かぢ　近江郡ニ和加方布　蒲生

かぢ　万可倍古本催馬楽同竟宴哥可波出　替又更交

かぢ　万可里係　假廬

かぢ　万可波須　交

かぢ　和加波夜　廁

かぢ　祝川菜古今物名ニはゐぐさ和加波奈　草

かぢ　万櫻皮古今物名ニかはさくら和加波又加仁波今櫻皮ニ　樺

かぢ　万櫻皮古今物名ニかはさくら和加波又加仁波今櫻皮ニ　樺

かぢ　万可　礼流字加乎出　香気ニ万香乎　薫

かぢ　字可　和久　乾又燥

かぢ　熟食器ニ字加奈反　

かぢ　草ニ和加良可之波　草麻

かぢ　加伊奈註　刈安草　黄草

かぢ　迦豆良紀字同　萄

かぢ　万可良也俗用髭之字非也　又蘿髪比加介加都良　髪皮

かぢ　木ニ万　加之敞　

かぢ　万櫻皮古今物名ニかはさくら和加波又加仁波今櫻皮ニ　樺

かぢ　草ニ万　葉草ニ古　

かぢ　漆草ニ和　

かぢ　木ニ和加之波　吉本催馬楽同　槲

かぢ　万可良也和同和註髪少者所以被助其髪　髪皮

かぢ　万可奈比　奈不　竟宴哥同　叶

かぢ　万可欲布同

かぢ　万可　藤倍　數

かぢ　万可　本神楽哥同　通

かぢ　万可倍古本催馬楽同竟宴哥可波出　替又更交

かぢ　万可波須　交

かぢ　和加波夜　廁

かぢ　祝川菜古今物名ニはゐぐさ和加波奈　草

かぢ　万櫻皮古今物名ニかはさくら和加波又加仁波今櫻皮ニ　樺

かぢ　万櫻皮古今物名ニかはさくら和加波又加仁波今櫻皮ニ　樺

かへる 越前地名 万可敞流

歌

かぶづ 古訶那傳ではづみ法用す 奏

このづぬ 山城地名古 加豆怒紀同

四言

かみおつ 雷の落こと和加於豆又加美乃介 霹靂

かぢぎり 和加地刀利 擣師

かごひらぐち 万賀我比 加賀布 嬰

かいご 貝の下こと和 加伊加祢 胛

かはむー 虫こと和加 波無之 烏毛虫

う

はぼり 虫類こと字 和加波保利 蝙蝠

かぎろひ 虫かげろふ万玉 蜻蜻蛉ともの字こと借

かぎろひ 古加 蘂漏

のまづこ 小魚こと和 加未豆加 鮴

のいたけ

かうぶり かぶりとも 和加守 布利 冠

かいらげ 毛筒こと 七器

かはほね 水草こと和 加波保祢 骨蓬

かひろぐ 和加比路 久註舩不

かすがひ 門戸具こと字録と加須加比 和鎹と阿介賀須加比

かせづを 杖こと和加 勢都恵 鹿杖 又横首杖

おら

おを 才穀具和 加良佐子 連枷

ふ

ふの約須おてかくれこと 万可苦佐布 佐布 隠

かたらひ 万調可 多良比 相語

かぐはし 香濃こと紀伽愚破志古 同常云かうばし 馨

かたは

かならび 古辺賀那 倍紀同 考

かぐよふ 万加我欲布 又蛟蛾欲布 悲

かたー 万可奈 頭伎 先着

ら

ら 和脇肋と加太 波良保祢々訓 傍

かなーび 万可奈 之備

こぐなく 万可奈 假令

かたもひ 紀先拠と訓 万先境

かはぞひ 万苛嶽 訛比 川副

かたづく 万可き

のほぐり 万可保 等利 容鳥 又貌鳥

かへらひ 万還比 奴礼婆 還 又變

のほばち 万容花こと貌花 又可保婆奈

のほり 人名又紀柯 陀之波 堅石

かたもひ

曽補古言梯標注

炫

ふーんばハ不在こと 必

らき

大和郡[吉]迦豆良紀[紀][万]同 **葛城**

かよはく

[万]加欲波久 **通**

かづのき

木ニ[万]可頭乃木 **楮** 又穀木

かいごのや

上野郷[和]加以加也 **桂萱**

かづーの

下総郡[万]可豆思加 **葛飾**

五言

かはのみ

川神ニ[和]加波乃加美 **河伯**

うたつぶり

虫ニ[和]加太豆不利[宇]同 **蝸牛** 又蜦

かなづまね

[和]鐵索并也加奈豆奈為 **桔槹**

かくさふ

[万]加久佐波奴 又隠障カクサフ **不隠**

かはごろも

皮衣ニ[和]加波古路毛又加波岐奴 **求衣**

かへりみる

[万]可敝里見 **顧**

かみづ

ふさ

國ニ[和]加美豆不佐 **上總**

かたちひ

[天]加太知波比 **儐**

かはやぎ

葛類[和]加波良布知 **葛荻**

うたをみ

草ニ[和]加波佐久佐 **女青**

かくさはぬ

[和]鐵索并也加奈豆奈為 **桔槹**

りうつ

[和]雜蠶ニ加倍利宇都 **擲倒**

ゑを

[和]曲乃蠶ニ加布良恵利 **錏**

のくのあと

餅類ニ[和]形如結緒加久乃阿和 **結果**

のへ

かたち

六言

七言八言

かたちさのき

木ニ[和]加波知佐乃支 **賣子木**

かはよもぎ

草[宇]辛与毛支[和]加波良与毛岐 **菊**

かはよもぎ

草[和]加波良与毛岐 **白蒿**

かはは

ーけもし

詔可多自気奈志 **忝** 又辱

のへーまをーう

かへりハ三言ホ止ヲーハ末部ホ在 **賽**

かたち

かはらけ

[和]鹽梅類ニ加豆半以呂利 **堅魚煎汁** 賦役令

かたち

かはらけ

[天]加太 **瓦器**

のへあみて

[霊]加波阿弥良 **澡浴**

かみづ

かはやぎ

[和]如豆乎無之又赤 **蛸**

かくさはぬ

かはびらこ

飛虫[宇]加波比良古 **蝶**

かづーこ

かさをり

かづ

蟷螂

水揚

久奈支注小虫乱飛也

木ニ[和]加波夜奈支[宇]樫同

[万]漓半無○片男波ニ作ヨモ誤

春ヨ和字正濫ホ不江次第ホ加久佩ニ支和名抄ニ假字ニ入ヲ走ドわーらーもゐゑを和ト波ト通ズルコトハ今考フル略本和名抄ホハ加久乃安波ト古語拾遺ヲあつむすびのすゝ説ヲ當ラシムルモ亦ヘノ此ノ假字ハいきゝく考定ズ

春云支ハ伎の省文
支盲命方
葉字鐘等
皆之の假
字の用
支ハ伎の省文
之祐国の
古書ヨリ
略字ヒクくもり健
を建とろ類こ支

ノ

のみ 木 和加波 波之加美 呉茱萸

おこ〜な 菓 和加美於古之奈又加万奈 苦芙

たかひごのは 越中川名 万可多加比我波

かたの〜きのいひ 和加太加之支乃以比 注半熟飯也 餱餻

○幾部

一言 き

幾支伎岐記紀枳企奇寄綺騎既棄巾鬼祈祇機基忌耆嵜吉 清音

藝疑擬宜義儀蟻 濁音

木樹寸城來

からほあぶき 菓 和加良須安布支 射干

かはたれどき 万あふ小きの加波多礼等伎

かみ

この 木 和加波久末豆豆良又久曽末由美 衛

お伎の音あ〜くあ〜ぐ

二言 きぐ

鳥こと小支義之 和支ヶ須又支之 雉

きび 万幾受 疵又瑕

きえさめ 万幾延 竟宴哥同 同都紀波岐

三言 きはぎ

木字支 波太和同 黄蘗

きたひきたふ 万伎 波美 極又究

きたひ 乾肉こ字 和支太比 腊

きづな 和 両訓在鳥阿之乎在大岐豆奈 纃手 綣

きは 万伎波和髪際と加美岐波小訓 際

きは 万伎波和髪際と加美岐波小訓 消

開由久小さハ来経行こ消あ〜ぐ

競 きそひ きそふ 同

きらひきらふ 紀岐羅毘 詔字同 嫌又棄

きのふ 万伎乃數 昨日

きのえ

きこえきこゆ 古岐許延 和万同 所聞

きはめきはまる 万伎 保比 鉄 きたふ きたる 生支太不 釘

きづき 出雲地名出雲風土記支豆支 杵築

きらふ 万霧指又霧合

十幹の一ツ 木の兄こ 甲

衣服著衽酒 訓

四言

きゑむバ 和支恵無波注 蜻蛉小而黄也 胡黎

ぬいた 常云きぬた 和伎奴以太 砧

五言 至八言

きよまはり 浄ミまへりハ 辞祝浄麻波利

きそひかき 万服曽比 獵 藥獵

きりくひ 伐杭ミ字 支利久比 杠

き

きのうつほのみづ 木の穴の水ミ和木乃宇 豆保乃美豆又竹籬頭水 半天河

○久部

一言

く 久玖九鳩句約君苦空官矩倶區衢孔丘群音清 具愚寓隅遇求郡虞供娯濁音 來口國訓

後撰屑の皆とかけり

春云古事記の哥ノ クモ井々千 クモ万葉ホ クモ井々千ビキおどろ

二言

くは 不ミ紀倶 破万祝同 桑

くハ 農具古久 波紀和同 鍬

くず 葛艸ミ紀矩 儒万和同 葛

くづ

くもん 紀倶伊万同又久由 古本催馬樂音同 悔

くゑくゆ 万石崩と伊波久敝紀以播區 娜輸ハ岩くゆを延るなり 崩

くひ 百久比和同万十六 杙又杭

くひくふ 百倶比 紀同 咋

くひな

くぢら 大魚 古久 治良紀和同

くまぢ

三言

くもゐ 百久毛韋 万雲居 雲

くぐひ 鳥ミ字和久々比 古本催馬樂哥同 鵠

くぐか 鹿類ミ和久之加 堂同又於保自加 麀 又麑

くひぜ 字久比 是和同 柮 字書木頭和抹也 訓字書木根入土

くぢ 和玖之利注解結者紀手 抉ヲ多衢餌雜字釈ヲ久

くもで 水草ミ和 久和為 烏芋 又慈姑

くつとくつどら 馬具和久豆和 都良又久都和 轡

くるひくるふ くるへる 万久流 比和同 狂

くらゐ 和久 良為 位

鯨又鯢 巨根土上日 珠又短柱 自利 恵面 鰭

鳥ミ紀倶 比那和同 水雞

くいくも 紀倶伊万同又久由 古本催馬樂音同 悔

須利久都ヽ訓 屑

くひ 百久比和同万十六 首ホヒ

靈 鐏 与支久良比毛乃

隠曲路し 紀矩磨遅 隈

くづる 字 久 豆礼 崩

くはゝ 其物とやむる辞し 百久波志紀同 細 百目微它賣紀眼

くぐゝ 字 久 自久 躰 註屈也断也又註訓注折曲也

くらぶ 人名紀衢羅餌又倉下

くらふ 字 久 良不 喰 又喫咋

くはへ 筑前郷し

くいふくはへ 言のたとひ 加

和 久 波倍 歎 釜鬱

くるへ 伊勢朝明郡 和 久留倍 訓覇

蔵人し 賦人と求ラウト良宇度ゝ云が如し

四言

くろうぐ

くるべき 養糸具 和 久流閇択 反轉

くちおは 虫し 和 久 知奈波 蛇

くま

くものい 源順集い

くれなゐ

くつふみ 和 久都 波俗云久

熊膽し 膽ハ以部ノ訓リ

のい

くまのい 薬草し 字 久 万乃伊マ 加乃尓ノ久佐 和 同 人参

づみともいざや志ゝ浪志ぬ皆くちさまる草しかけるくものい此哥上下にい文字とゝみるなるべし

深色し 呉藍 万 久礼 奈爲 和 久礼乃阿爲 紅

万葉今の刊本ニ都久保里とゝハ字の顛倒の誤とゝり

くれのねも 懐香と訓るハ不用

久 義 鏡

安藝郷 和 久留倍支 訓覚

へき

くすゝ 万 久須 婆之伎 奇

くさかえ 地名 万 久 佐迦延

くづほる 老くづほるゝ 万 久都保里

くる

五言

くさみなき 獣ノ唱 獣ノ唱 獣ノ唱

七言

くゐのはじのみ 字久礼乃波自加弥 和同又阿奈波之加美 虫ニ和久豆 久豆保宇之 蛁蟟

くゐはらくかす 紀倶穢簸 邏ヘ箇須 蘘荷

くつくぼうし 薑

○計部

一言

け 計。介。氣。家。化。祁。奚。雞。鷄。迦。價。誓。希。啓。開。階。戒。該。

二言

けが 濁音 毛。筒。食。異。殊。消 訓

けがす 清濁二音 夏。解。下。牙。曇。偈。宜。擬。礙。霓。凱。愷。皚。嵦。

三言

けふ 三言四言 固祁布 万同 今日

けひ 越前地名 古気比武同 筒飯

けぶり

けぢめ 火気字介 夫利和同 煙 烟同

けづる 古気頭 流字同 削

けづる 髪をけづるあり 和介 都留字加シラ之良介豆流

けむたし 因痛ニ和 介布太之 燻

けはひ けハ気ニ はひハ辞

梳

典云 戀ハこひんてひこふ こふると活用ニ、んてハ こんてひこふと活用 すべし

○己部

一言

こ 己。許。古。胡。枯。姑。祜。故。居。固。孤。庫。巨。渠。去。莒。擧。虛。據。興。高。顧 清音 呉。誤。娛。五。吾。悟。語。後。凝。其。碁。期。虞。御。馭。小。子。兒。粉。木。樹。此。是。來。籠 訓

二言

こひ 魚ニ字古 比和同 鯉

こひ 足病ニ和古比 濁音 孤

こひこふ 人ヲ慕ニ固 古斐紀万同 戀

こひ

肥字 古由

春云和名抄ヨコイトヒ小強飯の字とあそこるハ誤ン強飯ハめしとおもひてつふことゝし硬飯の字らくにつきそ

三言

こひ 利 肥

こゝろ こゝろ 祝乞比 乞

こゑ 字同 聲

こと 古根許士尓許 而万許自

こゑ 万許恵 こゑ 紀古曳 万 同又古由 越

こゑ 万事負 乃牛和古度比 特牛

こゑ 鷹ノ云 水居

こゑ 万許保 こゑ 字古衣太 骨多シ

こずゑ 木末ノ和古須恵 梢

こほり 古本催馬樂巳保利拾遺物名同 郡

こほり 万許保里和同 水

こよひ 紀虚豫比万同 今

こぢ

こはし 字巳波志和張飯を古ハ伊比 強又侄

こづみ 万許都美 木屑

こゝろ 紀挙盧毗万許巳波婆 晴

こまうけ 古本催馬樂哥古末

こぢ 和古刀知 箏柱

なまつ 菜類ノ和古保祢 溫菘

こぎうけ 紀兄公又叔父夫之古之字刀又女公又女妹姉妹夫之古之字刀米

四言

こゝろ 之地 越道

五言

ほひ 比ノほの八辨

こいひ 和古八伊比 強飯

こいろ 伊勢郷和古以之呂 漕代

こゝろ 万許等利和利 理ノ義

こゝろ

こゝろ 虫ノ和古保呂支 蜻蜓又蜻蛉

こゝろ 和古乃乃永 絃

こゝろ 紀挙盧毗万許巳波婆 晴

こゑ 万許恵 こゑ 紀古曳 万同又古由 越

こゑ 字同 聲

こゑ 鷹ノ云 水居

こゑ 紀古曳 万同又古由 越

こゑ 字古衣太 骨多シ

こゑ 万許恵 こゑ 紀古曳 万同又古由 越

こゑ 字古衣太 骨多シ

六言

こわづくり 字巳和豆久利 又志波不支 敎

こゝろだらひ 万許己呂太良比 心尼

こゝろばへ 意ノこゝろばへ 五下延

こゝろのを 和古乃乃永 絃

こゝろ

こゝろ 虫ノ和古保呂支 蜻蜓又蜻蛉

こゝろ 和古乃乃永 絃

こゝろ 紀挙盧毗万許巳波婆 晴

兒手柏 こいまろひ 四言こいふすの条に云 展轉 反側

○左部

一言

さ 左、佐、差、瑳、磋、沙、娑、砂、紗、散、射、作、社、者、草、舎、積、柴、

二言

さは 和左八 澤

さハ 古佐波 紀万同 多

さを 舟具古佐 袁紀和同 檣 又竿

さ

三言

さぐえ 貝ノ和 佐左衣 栄螺子

さひぢ 魚ノ庁 佐比古 劍

さすえ

霜 清音 謝、坐、座、藏、邪、裝、粧、奢 濁音 狹 訓

えさゐ 寒万 左叡 冴

さへ 実さへ花さへ のさへもり 万左倍 副 又並兼

さひ 比 灵佐 幼 窕

盃類ノ和佐須衣註 黒似斗屈木爲之 桮

さらひ 万佐良比 農具ノ和 欅

さはり 万佐波利 障

さかり

波利 月水

さそく 万佐和 久字同 騒

さづけ 万佐 受気 授

さずき 古佐 受岐

さうひ 紀万 境部

水坂合部 通ハ用 境

假廃

さうえ さうゑ さうべえ 古佐迦延 紀万同又紀佐伽麿曳 栄

さうひ さうふ 比ハ不ハ通 逆

さそひ さそふ 万佐和 曽不 誘

さへき 氏又安藝

さ

郡和佐 倍支 佐伯

さはた 佐渡郡和 佐波太 雑太

さはら 筑前郡ノ 和佐波良 早良

さ

下總郡ノ 和佐宇万 相馬

さはひ 駿河郡ノ 和佐波比 澤食

さひづる さへづる 鳥の鳴ノ万佐比豆流 古左反豆留和同

四言

さを志か 鳴左鳴子 加万和同 牡鹿

囀

いだて 和佐イ 多天 戯射

さいなむ 字佐支奈牟云 文ヶ伊ハ通例ニ訶

さいづち 工匠具 和 散仍都遣 柊揆

さひづる 佐伊

さかづき 酒器ニ和 佐加都支 盃 ヘ杯 盞

さ

さはく 佐伊良 比 詔候布 侍 伺候

さもらひ さもふらひ さむらふ 佐伊良比 比 詔候布 侍 伺候

さ

さはやけ 菜類ニ和 佐皮夜介 黄菜

さまよふ さまよろぶ 万佐麻欲 比字同 呻吟

さすらひ さすろひ 和佐須良比 字 ヘ 佐須良反阿留久 彷徨

さ

さねく 物音ニ 万 狭蘆左謂 擣ニ 紀佐 鳥麥志

さとごり さとごほり 字佐和加波忘 万佐和久ヵ同 騒

さとす 物音ニ 古 紀 五 佐恵ヘ 神ニ古 紀 佐比持

さへぎる 障切 遮

さいだす 武蔵郡 和 佐伊太末 堉

征

さとく 物音ニ 古 紀 五 佐和佐和

さ

さいづち 散仍都遣 工匠具 和 柊揆

さいなむ 字佐支奈牟云 文ヶ伊ハ通例ニ訶

さひづる 佐伊

さかづき 酒器ニ和 佐加都支 盃 ヘ杯 盞

さ

さはく さはぐ 佐伊良 比 詔候布 侍 伺候

さもらひ さもふらひ さむらふ 佐伊良比 比 詔候布 侍 伺候

さ

さはやけ 菜類ニ和 佐皮夜介 黄菜

さまよふ さまよろぶ 万佐麻欲 比字同 呻吟

さすらひ さすろひ 和佐須良比 字 ヘ 佐須良反阿留久 彷徨

さ

さねく 物音ニ 万 狭蘆左謂 擣ニ 紀佐 鳥麥志

さとごり さとごほり 字佐和加波忘 万佐和久ヵ同 騒

さとす 物音ニ 古 紀 五 佐恵ヘ 神ニ古 紀 佐比持

さへぎる 障切 遮

さいだす 武蔵郡 和 佐伊太末 堉

さ

水万ト　水良王

三字言　並二万三　重二万六

ぎ　草し和佐波阿良ヽ岐又阿加ヽ末久佐　澤蘭

さゝらえをゝこ　月ヽ万左佐良摸也子　摸ヽ延部ふ在　壮ハ衰部ふ在

二言

一言　志　志ヽ士ヽ仕ヽ之ヽ芝ヽ師ヽ四ヽ斯ヽ死旨指始信進新式試此ヽ紫次ヽ叱ヽ司ヽ伺ヽ詞ヽ嗣ヽ侍ヽ詩思ヽ偲施絁璽尸ヽ子ヽ矢笑ヽ資茲絁ヽ磯石ヽ足ヽ爲ヽ已　訓

清音　時ヽ事ヽ辭　清濁二音　自ヽ慈ヽ兒ヽ寺盡茸珥ヽ餌　濁音　羊蹄　二字一言　紀万志

志ひ　ホミ固志比紀万同　椎

志保　海水ヽ万思保　字志保弥ミヅ豆　潮　又汐

志保　煮潮作ヽ古　志ホ紀同　鹽

春云志ひるハひらことをいふもとゝへ　狩倭字拾要ふ委くらべ　字志比天云　強言

捨垣塀集四王寺山をおうて　老ゐをとこハうてゐよ　ぬゑ　ちゝしゃ　ちゝくそゆゑハ　春云須児と賤児のすがたちとを法頭胎法師ちうことをのくるをもつ也と云ハスコとゝ同ハあらし

志ち　万斯和和同字酢を於毛呂志和卑　雄又雛

志ぢ　車具ヽ和之知　楫

志づ　下つ子の略万須兒の須ハ志豆の約古今集倭文ヽ賤と無　賤

志ゞ　万ものゝ寺師　ものゝ心ぢうるとゝ云

志づ　古の文布ヽ紀之都　波施メシノ頭於利ヽ

志　万之百又

斯閭利　倭文

四時　繁

志ほ　物の至極をゝ　古志波

志たを　前夫ヽ和之太乎又毛乃乎乃古

志ゞみ　小貝字之自弥和同　蜆

しみづ　すみ水ヽすゝ和之美豆古本神樂哥同　清水

志ほで　馬具ヽ和之保ヽ　鞍

志をる　草木の凋ヽ万之乎

志ろを　魚ヽ和之

しつまへ　紀志理幣

志ひな　和之比祢畧註皮肉腫起不癢ヽ痛又堅強者也　瘤

志ひろもて　万志斐誤之非天　強

志そひ　古斯多布万之多比　慕

志そづ　讒ヽ字志己曰　譖

呂乎　鮖

礼豆新万礼ヽ芝折礼者　茅

万同　後

志ひ名

古本神樂哥ふ志波須と訛る

競宴哥斯朗陪幣

古語拾遺斯利久迷縄

志ぶむ しぶまる

字志自 万卌 縮 又蟠

志づく

万卌 頭久 滴

志ざは

播磨郡ノ和忘佐波 宍粟

志はす

年梶の器轉じ後ふ師走の字を書て義をえ誤

志づく しぶむ

古本催馬樂之頭久 沈

志はつ

人名又地名紀河邊 飛泊 万四極小さ

志づら しづまる

万之頭気師魂志都宮ふ志静米 靜

志なえて

万念之。之萎而ふ〻書ふよ〻 奈要而 うふたゞきよとそゝ

志もづふさ しもつふさ

國ノ和之毛豆不佐 下總

志ひなせ

和之比奈世註有皮而無米也 粃

志なひ しなほる

万之頭気師魂志都宮ふ志静米 靜

志名や

歎辞ノ万思恵也

志ほさゐ

潮騒ノ万

志たへ

斯漏多間万同 白布

又白栲又白木綿又白細布又白妙 妙ハ借字

志ぶき

字志波不支和同 欸嗽

志ろたへ

潮佐鳥 朕

志たぐひ しなざかる

詔順比 順 又隨

志ぐま

万斯豆米 鎭

志ら

志そび しほ

肉醬之字肉比之保

志りくめは しりくめは

祭祀具ノ古尻久米縄和之利久倍奈波 端出之縄

志りよりくちよ しりよりくちよ

病ノ和之利与利久智与利古久夜万比 霍亂

志りくやまひ

志もつこく

志ろこめ

志ろたへ

志ろひ

志ろ

志ろ

志ろ

增補古言梯標注

二言

ひち 須知 筋

ひる 古須受 紀同 鈴 又鐸

ひひすまる 字須不 吸

ひふ

ひま 古須惠 紀万同 末

ひる 和須惠注 假髮

ひた 上總郡 和李 周淮

ひろひう 万須惠古 本催馬巫

ひは 信濃郡 和須波 諏方

ひく 和須 久不 巢

ひき 魚古須受岐 万出雲風土記同

ひぐろ 古伊須々岐祝同 伊ハ發語そゝろ同 不覺 又坐 粛

ひぐ 万須受之字同 涼

ひくひすくふすくへる 仏足石哥須久比三代実録同

ひまひまふ 詔須末比 万和同 任

ひま 和須 末比 相撲

ひまふ 和須末比 小鳥 古須 受米 和同 雀

ひぢ 字和 須知 肘

ひる 假髮

ひふ 信濃郡 和須波 諏方

ひく 和須 久不 巢

ひき 魚古須受岐 万出雲風土記同

ひぐろ 古伊須々岐祝同 伊ハ發語そゝろ同 不覺 又坐 粛

ひぐ 万須受之字同 涼

ひくひすくふすくへる 仏足石哥須久比三代実録同

ひまひまふ 詔須末比 万和同 任

ひま 和須 末比 相撲

ひまふ 和須末比 小鳥 古須 受米 和同 雀

ひぢ 字和 須知 肘

ひる 古須受 紀同 鈴 又鐸

ひひすまる 字須不 吸

ひふ

ひま 古須惠 紀万同 末

ひる 和須惠注 假髮

ひた 上總郡 和李 周淮

ひろひう 万須惠古 本催馬巫

**ひは

增補古言梯 木村

○世部

一言

せ 世。勢。齊。劑。制。西。栖。細 清音

三言

せうと 弟。迫。背 訓

古へ兄と世ゝらひ又衣ゝ云せうゝハ兄人ゝ

石花 二字一言

是。笶。噬 濁音

瀬。湍。兄

○曾部

一言

そ 曾。層。僧。贈。蕪。所。浙。祚。且。祖。則。宗。諸。鐏。素 清音

增。憎。俗賊。茹。序。存。鋤 濁音

叙

三言

そのふ 其。背。衣。十。麻 訓

追馬 二字一言

二言

そは 側ツ

岨

そひそふ 古蕪比紀同五

蕪倍祝曾布 添 又傍

そほ 大和地名ゝ 紀層富縣

赤ときゝ紀赭とそほにゝ訓同

三言

そほさ 和牛馬體曾保岐又曾布岐

歷草

そのふ 五曾能不和同又曾乃古本催馬樂美曾乃不

園 圃

四言

そがひ 五曾我比 背向

そこひ 五曾古比 涯

そかば 讃岐郷ゝ和曾加波 蕪甲

五言

そへぐるま 和後來ゝ曾万又比刀太万比 副車

そふのみ そふのーも

又

苑園

四言

そこなふ そこなふる そこなはる

古蕪那布 備

そほづ 山田ゝ鳥獣のわざろーふせるものゝ古山田曾富騰ゝいへる神の名ゝり轉

五言

そこなひ そこなふる そこなはる

曾己奈波苗 弊

そほぢ 所沾ゝ紀曾袁遲

通

そ 贈 吻

そほぢ 歷草

そのふ 園 圃

そへぐるま 副車

そふのみ 弊

○多部

一言 多 多。哆。丹。他。柁。稻。當。黨。儻。囊 清音 太。陀。駄 清濁二音 娜

大和郡ノ和添上ト曽不乃加美添下ト曽不乃之モ

古ノ物ヲ文易スルニタヘヌ故ニ其儘介ス即今ノ通用ノ如シ故ニ萬葉ニ哥タトニモ椰ヲ用ヒテ貝又錢ノ字ヲタヘトニ乃ヲ妙ノ字ヲタヘトヨメルモ本椰ヨリ出タル也上古ハ椰ヲ用ヒテ上ナキ物トシタルヨリ人名ニモ多ヲ用ヒテ

二言 濁音 田。手 訓

多づ 鳥ノ古多豆方和同 鶴

たへ 方多倍 妙 多へたふ 方安倍ふ同 堪 又任敢通用

たひ 魚ノ字太比和古本催馬樂同 鯛 又式平魚

多へ 織物古多閇方祝同 栲

三言

たら乞 和今呼老女ヲ萬太宇米 專

多ふる 字太不留 倒 和歎の死ぶ斃ヤもハから体ふその語ハ同

た

濁音

新方 遠倍里 字 太加布

又おひたるもの通りてもいふ

なぐさ 又たどきともいふ 万五百 多抒伎 同十二卷田時

濱ちなふけハなりけり 万一日向とぶらふ 多武峯をたふの峯ともいふ音便の同例 哥にもとふハ松川百首ふ足摺の山の

この大いも音便ニ

いも 舩尾和 多伊之 これハ平ニ書ク 西吾足不得歩成（エ ノトリ タギ シ 常ニ斯形ヲ見ル）舳

の意方鶴（タヅ）サ多題吉これと濁る近き音便

たとる 草木ヲ手ニ折ニ方多乎理 手折

たらひ 手洗ニ和多良比 盥

たづき 和多都岐 註廣及斧ニ西方山多豆同 鎚

たをり 山のたをり処ニ方手折の字を借て書り

たづき 手著（タヅキ）ニ便

又給

ら 紀陀毘邏 万字同 平

たらべ 古本催馬樂哥左（サ）乎（ヲ）太宇倍天 給

多まのひ 和倍（ヘ）土都久又太万比 歐吐

多わみ（たむ） 万多和美又多和多和字多和牟 撓

多まひ（たまふ） 古多末比万加同 賜

たひ

多をを

たぐふ 多虞毗又多具倍万同 紀多虞毗 仏足石哥多具覇利 比不倍通 譬喩 假令ことゝもゝ（ヒ）ゝ（ヒ）ゝ（ヒ）

たぢひ 河内郡又氏古多治比續紀和同 丹比

多げふ たくふ 武蔵郷ニ和多介布 但馬郷ニ和多加布 高生

たいまつ 大和郷ニ古當岐麻和多以末 當麻

多かたの 高家

多きへ 多きへけへ 信濃郷ニ和太伎倍佐渡郷ニ和多介倍又多加倍 高家

たけを 万多家乎 壮士

四言

多をやめ 手弱女和太乎夜米 婦人

多づのひ 紀陀豆歌此 田令

た

多のご

たおすがな 手弱ニ紀手ホニ之比 那須備和同 手端又手子

多ふさぎ 字襷と太不佐支和袴而無跨謂之褌須万之毛能又知比佐岐毛乃又祢毛乃之太乃

たいまつ 焼松ニ和太以末豆 續松も同

多のいらこもち 和太加無

まゝひ 万多麻之比 魂

たまづさ 手拭ニ和太乃古比 たなごひ 手巾

ひ 太不佐岐 良又太加波良注竹蓑 簑

たまのひかがみ 多ゝ加閇婆紀同 戦

たまづさ 文と云万多麻豆左又玉梓

たゆふひ たゆふたへ 万絶多日、多由多布 猶豫不定

多ふさ 百多布斗久紀五同 貴

たくはし 字傴と太太波志

たばさ 字太波志礼

多ふさひ たづさふ 万多豆佐波埋 携

多ぐはしめ 字太波夫流又太波留 戯

多づさひ たづさふ 登韶字同 誂言

多ゝ久 波比 貯

作劇

多ゝ加倍須 耕

たぐへ 和多加閇之詩以攀加久也 相扶

たづのき 木ニ和太豆乃木 女貞

たまはゝき 草ニ字玉豆志和豆之太加 蕎麦

たいまつ 焼松ニ和太以末豆 續松も同

多ゝ波 偉

たいまつの音便なるべし

春云手火と焼松とハ別詩ニ手火之光と云詩ハ伺ふに松ニ手火松ニこそ有ハ手火松

紀炬比万

万七五 絶塔浪

与云大師遺告文貢物多布度毛能 文徳紀尊比

竟宴哥玉津沙

与云盛衰記卅七丁小手ヶ向と云ふ下学集ニ説あり

万十五 帯子多和也女

又借馬ホあるとき たけふのこふてそ不 とあるハ越二のこゝろ ホのいり

の約ハ

五言
あけのこのハ
竹皮ノ和 竹乃加波
笹
たまきはる
冠辞ノ古 多麻岐波流紀万同
た

六言
たちまもり
入名古多遅麻毛理

多まのむや
河内郡ノ和 多未乃於也
王祖
多

九言
多ちもゐほる
万太毛乃保留字 多知毛乃保留
徘徊
た

六言
かむなのうはこのハ
竽ノ皮ノ和 竽乃宇波加波
籜

たづたづし
万霊治 波布
靈幸
たどくくしき 万多豆多頭思

一言
ち
知。智。池。遅。馳。陳。稚。致。耻。掇。答。清音
治。地。尼。旋。泥。

○知部

渥。貳。膩。濁音
乳。血。千 訓
道。路。徑 同濁

三言
ちゝも 和知於毛
乳母

ちゝや 衣服ノ和 知波夜
褌

ちのひ ちのふ ちかゝる

四言
ちりひぢ 字知利比治
塵土

ちかづく 万知可豆久
近

ちひさご
古本催馬楽哥知比佐古ト称フ利和郡郷又物名ニあり

五言
ちぎりかうぶと
和知岐利加宇不利註婦人喪冠也
幗

ちぎる
冠辞ノ古知波夜夫流万同

ちひさきもの
和知比佐岐毛乃也

ちゝひ
万千羽日。乙部さきハひの処ゟ出
幸

ちらふ
万花散相。散ト延ルる語ノ

六言
七言
ちはやぶる
知波夜ト唱
神無
踏也
禪

万十五丁知里比治

○都部

一言

つ 都。通。追。兎。菟。闘。屠 清音

豆。逗。途。圖。徒 濁音二音

頭 濁音

津川訓

二言

つは 出雲風土記 都波 草ノ心 石蕗

つは 字与太利又 豆波志留 唾

つゑ 豆恵 字和同 杖

又丈

三言

つはり 字孕始兆也豆波利乃 登支 和択食豆波利 膳

つのひ 古都加比 紀万同 使

つのへ

つむド 和牛馬體ノ都無之 廻毛 旋毛

つゞ 和牛馬體ノ都無之 廻毛 旋毛

つゞみ 楽器ノ古都 豆美紀和同 鼓

つ

つふ 紀都柯陪 登万同 仕

つくゑ 和都 久恵 机 案

と以波 豆々之 躑躅

るぶ 良都 流夫 婚

つゞき 紀八十連属ト 野素豆々伎 續

つゞる 古都度 比万同 集

つひふ 古都毗 途万同 遂

つひゆつひえ 字費ト 古豆多布紀同 万豆多比 傳

つたひ 古都 万同 綴

つゞら 蔓草ノ 古

つゞく 字豆万 豆久 遶 蹴然

つは

つゞき 山城郡和 豆々岐 綴喜

つゞく 字豆万 豆久 遶 蹴然

つい 繼合ノ 番

つぎて 續連ノ豆礼ノ約 田ヌ支ト以ト通 次

つゞき 豊前郡ノ和豆伊岐 筑城

つゞる 都豆良紀 菟頭邏

つぎて

四言

つはもの 和都波毛乃 兵

つまづく 和都以加岐又豆以比知 築墻

つまづく 和都以波無 注鳥取食ノ 啄

つまいも 牛病ノ和ノ

つまづき 月立ノ

つゞく

つゞき

つゞる

つひふ

つたひ

つゞら

つい

つは

豆万以利 蹄蹋

名む 和都波恵牟 莞尓

つぎて

つぎむ 和都以波無 注鳥取食ノ 啄

つまいも 牛病ノ和ノ

つまづき 月立ノ

つぎて

つぎむ

つまいも

つまづき

つぎて

朔
つちのえ 土の兄 戊
つちのと 弟 己
つぶて 紀 都加播佐礼 礫
つぐま 祝詞 波志 延喜 同 万
つくろひ 紀 豆久路比 波都久呂比 繕
つく 鳥狸 也
つくる 数の併 約
つくろふ
つくのふ 空 豆久乃布 儀
つぃたて 衝立 支々以通
つぎらをり 葛折 九折
つ
つむかぜ 字 豆牟加是 和同 風
つぬさはふ 冠辞 紀 苑怒瑳破赴 万同
つきづらひ 和 豆支之良比 註獣角觸物也 觝
くりうは 和 都久利加波 註獣皮去毛ヲ 革
つくのひびき 工類 和 豆久乃比ゝ乃 客作兒
つぐみのいひ 和 伊比祢又保曽之 草 白英
つぃものくつ
このさ 官名 和 都波毛乃ゝ都加佐 兵部省

○天部

一言
て 天 豆 低 底 庭 帝 諦 堤 弟 清音
代 題 清濁二音
田 傳

二言
殿 泥 塗 涅 耐 濁音
手而直 訓

二言 至五言
てふ 吉何ゝ叫ゝ呼ゝ言とでゝ云ゝて何ゝちふゝ叫ゝも何ゝと呼ゝも云ゝと中世ゝ以後ゝて通ふ
てをの 工匠具 字 豆乎乃 和同

釿
てらふてらハす 賣 紀 比登混羅 賊 字 天良波須 衒
てらづくき てらづき 鳥 字 寺豆支 和 天良豆ゝ岐 啄木鳥 又鶺鴒 方言けらづき
てづくり 万 豆豆久利 調布

方言 郡式 こゝも叫ゝ呼ゝを約めゝくゝも
方言 ハてらすの畧

增補古言梯 拾遺

○登部

一言

と

- 登。刀。斗。等。苔。靉。鄧。騰。縢。藤。得。德。渡。妬。屠 清音
- 杜。圖。度 清濁二音
- 奴。弩。怒。特。迺。耐。儻。杼 濁音
- 扉。跡。常。十。鳥。止。迹。音。砥。利。礪。外 訓
- 戸。門。與。共。速。鋒。
- 土。

二言

とど

- 老若ヨリ転ビ戸主トモ 紀 靉自 万和同 戸母

とぢ

- 古本神樂哥刀知竟宴哥同 閉 字綴ト刀豆註塵縫ヒトリ もろ〳〵ヒともト刀豆の言ハ同

とを 古登袁 紀同 十

とゐ

とぐち

とまや 万等伎波 常

とな

三言

とびと 飛魚ノ字鰡ト刀比乎和鰡同

とをね 和鳥居 神門

とまを 常ヨ巴字ト用江次第鞘繪

ともゐ

盤

とのい 万侍宿宿ト以ヤ云ハヤ爲ノ假字ヨリヨビ 宿直

四言

とほあげ 和淮南子ニ云越人学遠射ノ參天而發ノ保奈介 遠射

とほもづま 和刀モ都奈注鵜舟索ノ

とほのく 万登ヒ能倍宇刀ト

とほらひ 問ヲ延タ

とこはは 仏足石哥刀ヒ刀波 万常登婆

纜

とぢきみ 和之岐美又度之岐美 靈止自支弥 閾又閫

ともおひ 紀等盧辞陪 万同 三代実録共ニ比

とこし あくの畧 長又鎮

訪

乃不調る詰

燈火

ともしび 万等モ之備和同

とほる 古登富礼 紀行ホヲ 万等宇利 通

とほち 大和地名 拾遺集 ヲバヽくゐてかくてんあこその十市

とほし 古登富 万同 遠

とひ 字止止布 肥

とふ 万刀奈布 唱

とらふ 紀等邇倍 和四 人ヲ刀良倍比ノ 捕

とをく

とほる 古登富礼 紀行ホヲ 万等宇利 通

とほち 大和地名 拾遺集 ヲバヽくゐてかくてんあこその十市

とほし 古登富 万同 遠

とひ 字止止布 肥

とふ 万刀奈布 唱

とらふ 紀等邇倍 和四 人ヲ刀良倍比ノ 捕

とをく

とほあげ 和淮南子ニ云越人学遠射ノ參天而發ノ保奈介 遠射

とほもづま 和刀モ都奈注鵜舟索ノ

とほのく 万登ヒ能倍宇刀ト

とほらひ 問ヲ延タ

とこはは 仏足石哥刀ヒ刀波 万常登婆

とぢきみ 和之岐美又度之岐美 靈止自支弥 閾又閫

ともおひ 紀等盧辞陪 万同 三代実録共ニ比

とこし あくの畧 長又鎮

ともしび 万等モ之備和同 燈火

訪 乃不調る詰

とを 古登袁 紀同 十

とゐ

とぐち

とまや 万等伎波 常

とな

とびと 飛魚ノ字鰡ト刀比乎和鰡同

とをね 和鳥居 神門

とまを 常ヨ巴字ト用江次第鞘繪

ともゐ

盤

とのい 万侍宿宿ト以ヤ云ハヤ爲ノ假字ヨリヨビ 宿直

とぢ 古登遠 万同 撓

とほし 古登富 万同 遠

とひ 字止止布 肥

とふ 万刀奈布 唱

とらふ 紀等邇倍 和四 人ヲ刀良倍比ノ 捕

とをく

とほる 古登富礼 紀行ホヲ 万等宇利 通

とほち 大和地名 拾遺集 ヲバヽくゐてかくてんあこその十市

とほし 古登富 万同 遠

とひ 字止止布 肥

とふ 万刀奈布 唱

とらふ 紀等邇倍 和四 人ヲ刀良倍比ノ 捕

とをく

とほあげ 和淮南子ニ云越人学遠射ノ參天而發ノ保奈介 遠射

とほもづま 和刀モ都奈注鵜舟索ノ

とほのく 万登ヒ能倍宇刀ト

とほらひ 問ヲ延タ

とこはは 仏足石哥刀ヒ刀波 万常登婆

とぢきみ 和之岐美又度之岐美 靈止自支弥 閾又閫

ともおひ 紀等盧辞陪 万同 三代実録共ニ比

とこし あくの畧 長又鎮

ともしび 万等モ之備和同 燈火

訪 乃不調る詰

とを 古登袁 紀同 十

とゐ

とぐち

とまや 万等伎波 常

とな

とびと 飛魚ノ字鰡ト刀比乎和鰡同

とをね 和鳥居 神門

とまを 常ヨ巴字ト用江次第鞘繪

ともゐ

盤

とのい 万侍宿宿ト以ヤ云ハヤ爲ノ假字ヨリヨビ 宿直

とぢ 古登遠 万同 撓

とほし 古登富 万同 遠

とひ 字止止布 肥

とふ 万刀奈布 唱

とらふ 紀等邇倍 和四 人ヲ刀良倍比ノ 捕

とをく

とほる 古登富礼 紀行ホヲ 万等宇利 通

とほち 大和地名 拾遺集 ヲバヽくゐてかくてんあこその十市

とほし 古登富 万同 遠

とひ 字止止布 肥

とふ 万刀奈布 唱

とらふ 紀等邇倍 和四 人ヲ刀良倍比ノ 捕

とをく

とほあげ 和淮南子ニ云越人学遠射ノ參天而發ノ保奈介 遠射

とほもづま 和刀モ都奈注鵜舟索ノ

とほのく 万登ヒ能倍宇刀ト

とほらひ 問ヲ延タ

とこはは 仏足石哥刀ヒ刀波 万常登婆

とぢきみ 和之岐美又度之岐美 靈止自支弥 閾又閫

ともおひ 紀等盧辞陪 万同 三代実録共ニ比

とこし あくの畧 長又鎮

ともしび 万等モ之備和同 燈火

訪 乃不調る詰

○奈部

一言

奈 南 難 儺 那 娜 乃 男 音 名 勿 無 莫 汝 菜 魚 訓

二言

なへ 未の初て生ゆる 和奈倍 同 苗

なゐ 和奈倍 同 苗

なる 紀那爲 地震 又地動

なは 紀儺婆 万和同 繩

なほ 万奈保 貴宴呼同 猶

なづ 万奈豆 なづるの約づ 撫

なづき 和奈豆岐 頭中髓腦 腦

三言

なむぢ 汝

なへぐ 足病 和阿之 奈閇久那閇久 蹇

なまづ 魚 字奈 万豆和同 鯰

なまり 脅類 和奈 万豆波太

なまこ 和奈 万爲和同 澤瀉

なまめ 水草 字奈 万爲和同

なまり 和奈八天 訛田間道 畷

なまこ 和須曾豆分乃古 衣服 路毛 又奈保之能古呂毛 襴衫 又直衣

なぐ

延喜式齋宮忌詞云 死稱奈保出里 同齋院忌詞 奈死稱直入也

春云桃李子 和刀保太 かうこあ 阿不美誤 みぼを生保阿日記 ともあをとあう かくそすも古のなる之和名抄を誤とへり

宣長云とほつみかさやうなるものへていはさやうなるとあろ〳〵ものもいさやうにほ火もろ〳〵ともに是と俗世俗ふその大納言の兵車のごんごとさきらこの仁にほろく作りて久身とあこ中はまてもものひ〳〵こともあく古とは一哥に遠白鮒とも物あさやうなるとを他は大小魚とホシクサキヲと訓ろハ心えす

五言

なほつたや 和刀保豆於夜 高祖父

なりひさ 和刀利阿波世 鬪雞

なこーを 前の なへ〳〵お同 長

なぐまほりぐま 遠江郷 和刀保利久方 通能熊

なほぞろ 万取與呂布 具足をるとも

なぐこほり 五等隋己保里 滯

なほぞろ 古紀大小魚と ほーろくさき いとゝ訓 万河登保志呂之小

なこやふみ 國 万等保都安布美 遠江

なつきもの

なよたけ 草 古聲 許呂豆良 薜

なよびか 和刀良倍比刀 詰繫禁罪人也

六言

なよろふ

八言

なごとよろふ 鳥 和刀豆岐乎之閇土里 鶺鴒

なごとあふみ

古神古言拾遺

四言

おけせみ 虫ノ和 奈波佐波 蟬ノ不能鳴者也

なかさば 和奈波佐波 註大魚名也 鮪魚

りはひ 万奈里波 比和同 業

おぼらひ 万奈禄強強 志部ヨ在 愁

おづむよ 同万奈美能宇倍由奈豆佐 比伎介呂字踏ト布弥奈豆佐布

万名綱 以部いすぐ〳〵のくぶ〳〵ふ同ド

五言

かまえのき 木ノ和奈 末衣乃支 荊

ないぐーろ 越ガ無之 治シ代シ 蔑

おおーおふ なうおろ 名小負ノ 八助

二言

おど 万上野哥 弩 自和介之 虹

おは 古途波紀 万和同 庭 場

おほ みほぐろ みほぐろ おへおろ 水鳥 古途本杼理 万同又 固美 本杼理紀 珥倍通利字和介保 鸊鷉 鶏

おへ 紀珥倍 万和同 苞

一言

お 爾 伊 途 二 仁 而 耳 珥 貳 尼 柔 人 音

〇爾部

于 於 而 負 訓

典云ふ所鳥をそそのかしうたはしめ云々今みよと云ハ誤古ハ手生も氏の手生もおふとこふとも云もおのつくの時あるにハ誤よりふべし

万十八 十七丁 尓奈比

苣 又贄

ふひ 古 途波 紀 万 和同 新

ふ 大和越前郡 和 尓布 丹生

にふ 安藝 遠江 安房郷 和 尓布 壬

生

にそふ 熟える おり 煮

三言

おきみ 瘡類 之 和 途波 美 今みきびりるも同 痤

にのハ 和 尓加波 註 煮牛皮作之 膠

ふは

そひそ 草之 和 途波 曾又 仁比曽 甘遂

ふハび 庭火之 和 途波比 燎

ふほひ 和 途波 比 ほふ ほひ

にハう 万 尓波 可 字性同 俄

にひたまさ 上野郡 万

ふなひ 荷 之 ふ ひ ふ ハ 辞 荷擔

ふハくさ 草之 和 途 波久佐 地膚

ふひなえ

四言

にほぼり 二言 尓出 鶺鴒 鶺鴒

にひばり 虫之 和 仁 波豆ミ 地膽

みつ

つぐ 木之 和 仁豆ミえ 又 乎加豆ミえ 茵芋

ふひくは 万 尓比 具波 新桑

ふぢそふ 伊豫 地名 紀 你枳陀豆 万 熟田津

ふひくさ 万 仁比 久佐 新草

ふぐは

五言

ふはつぼり 鳥之 古 尓波 都登理 紀 同 雞

ふひまぐさ 草 和 仁比 万久 佐又 祢阿佐美 闇

にハざくら 木之 和 途波佐 久良又波ヲ加 朱櫻

にたづみ 万 尓波多豆美 和同 註 雨水也

ふはくもぶり 小鳥之 和 尓 波久奈布里 鶺鴒

六言

ふひくもぶり

菇

潦

越中郡 和 途布加波 新川

尓比 那閉 新嘗

字 加と尓 支波ヲ志 賑

ふひ 飲物之 和 途於毛 比又豆久利美豆 將來

ふぎそふ 常陸郡 古 途比婆理 和同 紀 理比麼利 新治

ふひくさ 万 仁比 久佐 新草

ふぐは

ふひなえ

增補古言梯 巻三

○奴部

一言

ぬ

奴。怒。努。弩。農。濃 農濃二字古ハ奴の假字ニ和名抄の頃ヨリ乃の假字ヲ用ヰルハ誤

二言

ぬえ ぬえどり

鳥ニ固奴延万奴 要子鳥字和同

鵺 又鵼

ぬひ ぬふ

字奴布 和同

縫

三言

四言

ぬなは

水草ニ固奴 那波紀字同

蓴

ぬなくさ

固怒延久佐

萓草

ぬすまひ ぬすまふ

万盗賊ニ又窃盗ニ将竊食

ぬえくさ

ぬすむヲ名づくる語ニ

額突 又叩頭

ぬかづく

頭もて地を突ニ和叩頭 奴加豆支無ニ

野。沼。寐。宿 訓

○祢部

一言

祢 禰。年。尼。泥。涅。俤。浸。音

根。嶺。峯。寐。寝。睡。宿。泣。哭。

二言

祢ず 小獣ニ和祢須美 古本催馬楽呼同

鼠

祢ぐら 祢ぐらふ 祢ぐらる

倭俟ニ支 祢良比

祢ぐ

三言

祢ずみ

喧。鳴。啼 訓

四言

祢ぐるま 詔願幣流 万祢可比

願

祢ぶる 祢むる

ぶりむ同

眠

祢ぎけび 祢ぎけバ辞 もて加礼約

佞人

祢ずみもち

五言

七言

ね 木ニ和祢須 美毛知乃支

梗

○乃部

濱元祢ひとといふ ことあり一必祢ぶる ニ字祢夫利 撞祢夫利和合歓木 万里乃木

春去加礼の約心ね寸

典元若遺物者日祢 住ホをへてよめり

方十三里能其比

良 児乃呂不

古ハ告事ヲ告ノリ此ヲ云

一言

の 乃。廼。能 音之。野。笑。篦 訓

三言

のづち 毒虫ノ字乃豆知 蝮

のらえ 野荏ノ和乃良衣 蘇

のさき 和乃和支乃加世ノ反

のごひ 和乃古比 常ニハぬぐふ少ク異 拭

のろひ 呪詛

四言

のたまひ 告給ノ字使下ノ和乃太万不 宣

のいすみ 膿腫ノ和乃以須美 詳脚脂間生肉如刺

五言

のむぢふえ 和乃無土布衣 吭

○波部

一言

は 波。破。皸。半。判。絆。伴。巴。播。幡。鱓。薄。八。方。芳。泊。藾。盤。

伐。婆。濁音婆ト和ノ如ク唱ルハ半濁又麻摩魔多ク皆末ノ假字ニ用ヒ波ノ濁音ニモ用

磐 清音

者。羽。葉。歯。早。速 訓

二言

はと 語波ヒ 万和同 母

はへ 虫ノ和五月蠅ト左魔陪字蠛ト波ヘ和波閇 蠅

はえ 茅始生ノ紀波奴人名 蒿

はえ 魚ノ字波延和同

はひ 字和波比 灰 男灰

はひ 虫ノ行ノ紀波賦武志祝同 匍波布

はひ 伏テ行ノ万伊波比伊ハ発語又波布 匍匐

はぢ 万波豆 恥

はふ 草木ノはふ 苦万波布 延

はへ 和波太倍 膚

はごひ 万鴨ノ羽銭比 羽交

はりを 魚ノ和波利手又与呂豆 針

三言

はえ 草木ノ生ノ万波要 生

はひいる 虫ノ行ノ紀波賦武志祝同 匍波布

はだへ

鮠 魚ノ和

蚊行

魚

はつほ 新稻と神或ハ朝廷ニ奉ル 初穗

はふり 和波ニ加又途波佐久良 朱櫻

はぜ 和波ニ伎同 笘

はぜ 字波ニ曾同 杵 字 搗

はぜ 草ニ字波ニ伎 苅蒻

はぜ 國ニ和波ニ岐 伯耆

はぜ 諏波自米

はぜ 紀紙具ニ波羅閉都毛能 方波良倍 字解

はぜ 能登郡ニ和波久比 羽

はぜ 和波為苗 南傷酢ニ 齪

はぜ 方同 始又初

はぜ 奏ニ波良反 祓

はぜ 上野郷ニ和波布利 祝人

はぜ 山城紀伊郷ニ和波以之 拜志

はぜ 讃岐郷ニ和波以可 羽床

はぜ 方波良比字件ト波良不同 拂

はぜ 讃岐郷ニ和波以多 朴田

はぜ 方波良比字件ト波良比同 咋

はぜ 方波称受又異酢 唐揩花

はぜ 支徳実録母子草 鼠麴

はぜ 和波ニ布 埴生

はぜ 堊具ニ和波閇岐又太流岐 樮

はぜ 方波良反 弾

はぜ 和波ニ支 筈

はぜ 和波ニ利 弾

はぜ 和波ニ以可 羽

はぜ 和波ニ以之 拝

はぜ 和波ニ以多 歯

はぜ 和波ニ以之 腸

はぜ 和波ニ以可 黒子 囲 蹶

はぜ 和波ニ以多 半月

はぜ 和波ニ以之 牛糜

はぜ 和波ニ以可 貝母

はぜ 和波ニ以多 蔓荊

はぜ 和波ニ以之 掃墨

はぜ 和波ニ以可 蠅虎

はぜ 和波ニ以多 甸畠

はぜ 和波ニ以之 歯

はぜ 和波ニ以可 祝園

はぜ 和波ニ以多 祝

はぜ 和波ニ以之 耻

はぜ 和波ニ以可 祝

はぜ 和波ニ以多 祝

はぜ 和波ニ以之 祝

五言

波和 波良 蓁原

はくさぼー 和八ヶ支保之 彗星

はへはらひ 僧房具之和 波閇波良飛 白拂

はたおりえ 古一和波 太於里衣 促織

はづくろひ 和波都久呂比 訶鳥理毛也 叙

はひまゆみ 木也和波 比末由美 杜仲

はらのふえ 戦の具ニ和 波良乃布延 大角

はせづうひ 古波勢 豆加比 馳使

六言

はちすのはひ 和波知須乃波比 字倚木乃白久支 蜜

はひもぢえ 古一和波 於保地 和同 外祖

はちすのはな 字波と加太乃

はぐうたのねほお 古波比毋登富呂布ゝ波比毋登富理 紀異波 比茂等倍離 万伊波比毛等保理 いハ発語 匍匐

はいうりの 字波と加太乃

ねもー 和波加利 乃於もと 權衡

ふたのはいぐうたのねバ 字母方乃波ヒ 紀母方乃於波 外祖母 父波ハ大母の略ニて於

故ゐ乎の假字ニ父母の兄弟と可治乎婆ゝニハ小父小母の義

後撰秋下ニゆくぴども

一言

ひ 比。妣。非。悲。斐。飛。必。秘。彼。被。肥。卑。婢。賓。嬪。辟。避。譬。臂。費 清音

ひ 比 清濁二音 備。鼻。眉。媚。寐。弭 濁音

ひ 日。火。氷。乾。檜。干 訓

二言

ひぢ 字和 比知 臂 又肱 肘

ひぢ 主ニ紀 渥土と于比尼 沙土と須比尼 和遠江郷土形と比知加多

ひと 小魚ニ 字比乎 氷魚 字魚

ひぢっ 万渥漬と

ひえ 字和 比衣 稗

比豆知ゆゝらむ遅ホつけるニ又署ニて比治ゆゝも比豆ゆゝもニ

春云日知と物を識うる
轉して聖人と為るが
の義を用ゐて聖の字を
もちゐにくし大作
放人の事ならん

春云比乃奈の假字も
釈日本紀に證あり
ひなぶりのひなぶる
とこそとつゞく物語
みなこれ假字於要
に委くつゞり

字鏡 比豆 秀ゝ
圓秀 備前ノ尓多浦

三言

ひえ 山名ゝ 固日抜 比叡 又日吉の吉の古訓延ゝ 後世日ふ山ゝ誤ハ訛

ひゞあ 吾国天皇を日知ゆ 皇實 比志理 聖

ひたひ 和比太比 字顙と比 太比乃加ゝ保利 額

ひゞる 多のつめひゞゆる音 もて名づくるなるべし 雛

ひづめ 和比豆米 註蹄尾也 蹄

ひづ 獣 和比

ひろ 和比之保 字酢 を肉比之保 醤

ひいづ 穫出の轉ゝ記ゑを 保りのつもりならん 秀

ひはだ 檜皮ゝ 圓はゞ ぎきゝ皮爲

ひき 火の 尺ゝ

ひえ 字禾細枝 ゝ比古延 杪

ひーほ 和比豆知又於呂加 註自生稲也 穭

ひつぢ 和比豆知又於呂加 註自生稲也 穭

ひたを 紀毘 陀烏 頓丘

ひろひ 續紀比支爲天字禰 ゝ比支爲天由久 率

ひく 一重ゝ 註蚕ゝ比ゝ流 蛾 又蟻 和比太流 注老蚕也

ひゞく 一重ゝ 單同 和比刀閉岐奴 註衣無裏曰單

ひの 兄ゝ

ひゞ 容飾具ゝ 和比太飛 註敲髪則爲飾也 蔽髪

ひーる 和比 陸

ひゞあ 虫ゝ 和比ゝ流 註蚕作飛虫也 蛾 又蟻 和比太流 注老蚕也

ひむご 國ゝ 紀 辞武伽 和比 宇賀ゆあるハ平言 日向

ひをむし 和比乎無之註 朝生暮死虫也 蜉蝣

ひこぢゅ 字蚓と比古波 由 和比古波衣

ひぢさ 和比知乃岐 註在臂上者ゝ古ゆハくゝろ 肘

ひぢりこ 和比 知利 釧

ひぢまき 和比 岐於比 註小帯也 衿帯

ひぢ 和比 地

ひぢ 和比 地

ひぢ 和比 地

開久流方 註後車ノ 副車

はら 和比佐乃加波良註膝骨也 膝髆

ひざぐり 和比乃比米久利 太白神

ひざのら

ひるむやまひ 和比尚無夜末比註不能行也 痿痺

ひ

ひこいわし 小魚ノ国比志古鰯和比師古以和之 鯷魚

ひのげごろも 祭具ノ和比加介加都良

ひそ

蘿髻

ひきうひたぐひ 引ト延タルヲ吉比古豆良比 引豆良比

ひさぐさ 草ノ和比支乃比太比久佐又美良乃称ク佐 細辛

づうひ

○不部

一言

ふ 不否布副扶負敷浮甫輔賦府俯符赴 清音

父斧歩霧鶩部 濁音

蜂音 二字一言 丙夫 生歴經 訓

夫

二言

ふぢ 吉布遅戯方和布治 藤

ふぢな 草ノ和不知奈 蒲公草

ふじ 駿河郡又山名和浮志 富士

ふえ 紀府和同 笛

三言

敷布ノ字誤テ斯ト保ヘ牟註花初将開ト 含

ふるひふるふ 竹器字豆支不留不和布流比 篩

ふくみふくめりふくめり 唱ふくめりふくめりふくめり

ふくろ 紀府俗語袋利 丙布数賣流又

ふくろふ 鳥ノ字和不久呂不 梟

ふけひ 濱ノ名又人名 吹飯

ふくべ 能登郡ノ和不布志

ふごろも 喪服ノ和不知古啓毛

ふぐ 鍛冶具ノ和布岐加波 鞴

ふらはへ 方布良婆閇 鰭

ふみはづる 亞不弥介志留 蹋

ふ

四言

ふくろふ

ふたゐ 長門郷ノ和布多為 二處

ふたを

ふさごのハ

ふおよそひ 方布奈与曽比和同 幾

ふぢばかま 草ノ和知波加方 蘭

五言

鳳至

纏

○閉部

一言 へ

反返閉敝幣蔽弊篇遍覇陛瑕背沛杯輩鞞平

邊清音

便鞭別倍陪濁音○その如く唱るハ半濁し

經歷重隔方碪戸訓

三言

四言 へつひ 古本催馬樂 ハ与刀与反都比

竟

へつらひ へつらふ 字反豆良不誌不實言也

諂又諛

諛義

○保部

一言 ほ

保褒本寶朋費報富譜裒抱方清音

菩 西 清音

凡煩

乏濁音

穂帆百訓

二言 ほい 和保ヶ註面勞同下也

頬

ほゝ 獣声ヶ字 和保由

嗅又吼咲

ほゝえ ほゆう

ほゝづき 草ヶ和保ヶ豆岐

酸漿

ほゝづら 蔓草ヶ和保ヶ土豆良

百部

ほゝづら 可冠乃字又保ヶ須介又於以

ほゝぢ 和保ヶ由良

ほゝに 和保ヶ仁波

ほゝね 和保ヶ禰

ほゝの 火ノ秀ノ又火ノ穂ノ

熖

ほゝひ 乾飯ヶ字加礼部比又保志比和保之伊比

糒又粮

ほゝた 備中郷和保伊多

穂北

ほ

三言 ほづえ 古本都延 紀方同

末枝

ほゝき 乾肉ヶ和保之ヶ

脯

ほゝこ 乾魚ヶ和保之以乎

膸

ほゝしひ ほゝしひの條ヶ在

四言 ほいを

ほいひ

ほいた

ほゝぢ

ほゝぢら

ほゝぢり

ほゝぢり

ほゝぢり

增補古言梯 橋

五言 十一言

ほろがしは 木し 万保宝我之婆字和同 厚朴

ほろびず 和保加比

ほろびまらびずのつとのさ 官名し 和保宇之万良比乃乃豆加佐

加ケ計 綾 又考繁

比カヲ加多爲 霊同 乞匂 乞兒

玄蕃寮

○末部

一言 ま

末。万。萬同 満。馬。麻。磨。摩。磨。縻。魔。莽 音

同。廻 訓

喚犬 二字一言

眞。間。日。際。

二言 まい 黒牛し 和麻伊 烏牛

まひ 古麻肥 万同 幣

まひ 古麻弊 万与和 石炎螺

まへ 紀同 前

まづ 続紀先豆 先豆 三代実録同

まよひ 古本神樂哥 万刀爲 圓居

まじ 古麻比 和 続後紀同 舞

三言 まよわ 貝し 和 万与和

まろぶ 古麻韋久 礼紀同 万麻爲許牟又麻爲井之 仏足石哥麻爲多利 古本神樂哥 万爲利 參

まろで 恭出し 古本催馬樂

まをし 云し 古麻 表須紀同

まが

まろうる 古本神樂哥 万刀爲

まろうろ

まろうろもこん

まろうろもこんまろうろ

まろうろもこんまろうろまろうろ

まろうろもこんまろうろまろうろまろうろ

まろうろもこんまろうろまろうろまろうろまろうろ

まろうろもこんまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろ

まろうろもこんまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろ

まろうろもこんまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろ

まろうろもこんまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろ

まろうろもこんまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろ

まろうろもこんまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろ

まろうろもこんまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろ

まろうろもこんまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろ

まろうろもこんまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろ

まろうろもこんまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろ

まろうろもこんまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろ

まろうろもこんまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろ

まろうろもこんまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろ

まろうろもこんまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろ

まろうろもこんまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろ

まろうろもこんまろうろ

まろうろもこんまろうろ

まろうろもこんまろうろ

まろうろもこんまろうろ

まろうろもこんまろうろ

まろうろもこんまろうろ

まろうろもこんまろうろ

まろうろもこんまろうろ

まろうろもこんまろうろ

まろうろもこんまろうろ

まろうろもこんまろうろ

まろうろもこんまろうろ

まろうろもこんまろうろ

まろうろもこんまろうろ

まろうろもこんまろうろ

まろうろもこんまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろまろうろ

増補古言梯標注

四言

ひまぶくろ まぶくろ
古 麻刀比 続紀 麻度比 和 失意を古ヘ路万土比 惑

まづー
古 紀 貪欲を麻治知 又よむ治ハ豆志の約 貪

まぐはし
和 継父を万ヽ知ケ 継母

まぐろく
字 万志呂久又目ダ太タ久ク註目数動自 瞬

まぬ

まぬかひ
和 眼気シ 和 眼皮と万奈古為ル事ある八九ヽ 瞼

まぬかた
和 末和多之注 壁中横帯也 壁帯

まぐはひ
和 玄蕃寮と保字之ヲ万良比ヲ乃豆加佐 客

まぐこと
字 万奈志利 和 同註眼尾ノ 眦

まぐこり
続 麻自 許利 肯

まぐはひ
古 万 幣と麻比ヤ云ふおいハ 賂

まぐる まぐふ へ
三言まじ るふ出 交

まかなひ

まぐはし
和 蟲物の意 上のまぐこりの

まつろひ まつろふ
古 不順人と麻都漏

まぐはし
和 蟲物の意 上のまぐこりの

まつろひ まつろふ
古 不順人と麻都漏

まぐはし
和 末刀万宇之註執格司射中賞挙之ヲ 司格

まぐはし
万 麻奈 迦比 眼

まさきづら

まつはーのら

まぐはし
万 麻具 波思 真細

まぐまうー
和 末刀万宇之註執格司射中賞挙之ヲ 司格

まぬきぬ
衣名シ 和 万都波之乃宇倍乃岐奴 縫掖

ますらたけを
万 麻須良多祁乎 勇士

まつはーのら

まぐはし
万 麻具 波思 真細

まぐまうー
和 末刀万宇之註執格司射中賞挙之ヲ 司格

まぬきぬ
衣名シ 和 万都波之乃宇倍乃岐奴 縫掖

ますらたけを
万 麻須良多祁乎 勇士

まつはーのら

まぐはし
字 万加奈不 註宛也當也 擬 又賄

まぐはし
古 麻自良比 紀 同 万 麻毛 流 古本神楽哥 万保里 守 又護

まぐはし
真栄苞シ 紀 磨左乗逗羅

まぬきぬ
衣名シ 和 万都波之乃宇倍乃岐奴 縫掖

ますらたけを
万 麻須良多祁乎 勇士

まつはーのら

まぐはし
万 麻具 波思 真細

まぐまうー
和 末刀万宇之註執格司射中賞挙之ヲ 司格

增補古事記傳總目錄

御箕三身水海訓

二言

みづ 古美豆 紀方同 水

みづ 紀弥圖 瑞

みづ 万美豆和 ワラキあり古 美都紀万祝同 稚

みを 水の深き

三言

みづは 水神紀美都波和同 罔象 又魍魎

みわ 大和ふ在 三輪

みえみゆ 古美延 紀方同 所見

みわ 酒とかみくる器を云醸酒の略え酒のすゝのみ思ハ誤紀 弥和万同○神酒すゝもるハきとワラのみ料なふ事ゝく

みは 地名万 見捷又 美保

みづち 上ふ同和 美豆知 鮪魶

みづち 虫ノ字弥仁受和 古本催馬乐哥同 蚯蚓

みぎハ 水際ノ際ハ幾部ほ在、汀和美 ミギ 左支

みさを

みそぢ

龍屬ノ和 美豆知 蛟

みつを 馬具ノ和 義豆乎 鐙鞍

みづら 古美豆羅万和同和註 屈髪也 鬟

みよず 虫ノ字弥仁受和 古本催馬乐哥同 蚯蚓

四言

みづうら 続紀身 都可良 自

みのほ 國ノ和 美加波 参河

みのそき 蔵府類和 美乃和太 三焦

みづのき 和美 豆加

みづうみ 和美 美註大池 湖

みづの祢 和美豆 加祢 水

みづかゞ 万美 可伎 短

みづ

三十

みそぢ 万人魂乃佐青有公之ゝ也常葉ほ真青あるゝ〳〵云 万

古書ほハうそぬ訓ゝ後拾遺 匡衡卿哥ほ表かゝる草にゝ也 トキハ 常葉ほ真青あるゝ〳〵云 万

仏足石哥 弥蘇和阿末利の知ハ豆の指ゆゝ三十つゝ余ゝ 八百つ余ゝ一ゝゝ九ツ迫につゝ云ゝ百迫にちゝ云、共ほ助辞ゝ後ほみそゞよそゝあゞ書ハ誤かゝる

續後紀 尾張連濱主が哥ほ、毛々知万利ゝよ乞る

五言

みづぶくし 草ゝ字水不乞支 芝

みをづくし 水脉鑿ゝつハ助 万水乎都久志 澪

みづのえ 水の兄ゝ 壬

みづのと 水の弟ゝ 癸

銀 和名抄 白金ノ上品也 和名 之呂加祢

みづのき 和美 加岐 瑞籬

みづかき 幕相連蕃者也 蹼

支註鳧雁足指間有

ちひ 字耳志 比和同 聾

みゝづく 鳥ゝ和 又美ゝ都久 木兎

みづのえ 和美 加岐 瑞籬

みづかき 幕相連蕃者也 蹼

支註鳧雁足指間有

ちひ 字耳志 比和同 聾

みゝづく 鳥ゝ和 又美ゝ都久 木兎

堀河百首除夜の哥 ふるさとも春のこゝろやしるからむ ぬるゝよもなくとしをこすらん

みづのえ みづのと瑞の字と用るハ一直三推の意のみ

春云々哥異記小三左ゝ又弥生乎指遺集 雜下菅原道雅女の哥に曾にゝせゝう

標

みづバの玉 和美豆波加利 ○常云みづたまハ 準繩

みづぶるひ 僧坊具へ和 美豆布流比

渡水嚢 みづくし 推くすぐるるもし 古美都美都斯紀同

みやづこのへ 万官都加倍 宮仕

七言

みだらをのうま 和美太良乎乃宇万 註青白雑毛馬也 駶馬

みちのたくり 道口

はひ 古美斗能麻具波比 遘合 眞字紀

みづのまぐ

宣長云字書ニ牛ハ牛鳴ト有

一言

む 武。牟。無。无同 鵡。務。霧。夢。謀。音

六訓

牛鳴 二字一言

○武部

一言

免 免。米。賣。馬。毎。梅。昧。迷。謎。面。咩。綿。瑪。音

女。眼。目。

二言

三言

むべ 瓜類 和 牟閉 郁子

むぢな 駄し字和 牟志奈○推古紀傍訓ホ字自奈ヲ有古字ヲ以テ語後世武ホ

むろひ むろふ むろへる 古牟迦比、牟加布、牟迦幣流 万同 向

むかへ むかふ むかへる 古牟加閉 万同

迎

誤多し紀訓是ろ 挌

むくい むくゆ 字牟久伊○今むくゐハ誤 報

むらご 姓又人名又地名 万武良自、牟良自 連

四言

五言

むぎれすき 麥麭未し和 牟岐於須紀 衍麺杖

むろひそ 正妻し字牟加比米 又毛トモトツ豆米 嫡

むろーび 反牟加之比 喜

濱云郁子もむべハうといふこと本草和名ハ胡頽子もむべハ胡頽といひてもるべきさハあれど古事記紀ハ山獣名牟上那ともあるいふで傍訓ともいふべき

春云字と訓を牟とふること数多一通音ふるハ浜と云ものゆハあれハ街仁紀ホ

古言梯標言

見妻。訓 海藻 二字一言

二言

をひ 兄弟の妹 字和米比 姪 又嫡

をゝし 字和日志 比和同 旨 又饗

をづる 紀梅豆留 感 又愛

をのれ 和米乃於乃又米乃乃又知於毛 乳

をづら 木ノ和米加豆良 桂

をづ

三言

をゝし 和米阿波須 妻

をづら 草ノ和米波之支 荒蔚

四言

をあハす 紀梅豆邏志 続紀五同 希見 式祭上の文ぐる字同感愛ノ紀五希見ヤをるハ其感愛より拡充してもいへるなるもいへる故ノ今てゝふ別ノ挙名ハ後ふるのみ

をはゞき 毎

ら

〇毛部

一言

も 毛。母。門。問。聞。悶。文。目。物。勿。茂。忘。蒙。謀。望。暮。慕。摸。謨。木。茶。年。儀音 裳。藻。裾。方面。喪 訓

二言

もず 小鳥ノ字毛受和同 鵙 字鵜

もひ 尾畢ノ紀摸摩暮比和未里又毛比 処

もゝ 古木催馬楽哥美毛比和生ノ続紀 腿

もゝひき 牛鳴 二字一言 万毛

もゝそ 百 万毛

もゝち 百千

もゝよ 百世

もゝへ 百重

もゝを 百尾

もゝか 百日

もゝとせ 百年

もゝたり 百足

もゝしき 百敷

もゝくさ 百草

もゝかづら 百日草

もゝしきの 大宮 枕詞

もゝしきの 大内 枕詞

もゝしきの 宮 枕詞

もゝしきの 家 枕詞

もゝしきの 道 枕詞

もゝしきの 国 枕詞

もゝしきの 都 枕詞

もゝしきの 古 枕詞

もゝしきの 大和 枕詞

もゝしきの 武蔵 枕詞

もゝしきの 淵 枕詞

もゝしきの 川 枕詞

もゝしきの 白木綿 枕詞

もゝしきの 袖 枕詞

もゝしきの 枕 枕詞

もゝしきの 衣 枕詞

もゝしきの 鏡 枕詞

もゝしきの 玉 枕詞

もゝしきの 真玉 枕詞

もゝしきの 真珠 枕詞

もゝしきの 真砂 枕詞

もゝしきの 真土 枕詞

もゝしきの 真木 枕詞

もゝしきの 真葛 枕詞

もゝしきの 真弓 枕詞

もゝしきの 真矢 枕詞

もゝしきの 真剣 枕詞

もゝしきの 真鉾 枕詞

もゝしきの 真槍 枕詞

もゝしきの 真刀 枕詞

もゝしきの 真太刀 枕詞

もゝしきの 真鞘 枕詞

もゝしきの 真柄 枕詞

もゝしきの 真鍔 枕詞

もゝしきの 真縁 枕詞

もゝしきの 真目 枕詞

もゝしきの 真穂 枕詞

もゝしきの 真茎 枕詞

もゝしきの 真根 枕詞

もゝしきの 真葉 枕詞

もゝしきの 真枝 枕詞

もゝしきの 真幹 枕詞

もゝしきの 真皮 枕詞

もゝしきの 真肉 枕詞

もゝしきの 真骨 枕詞

もゝしきの 真血 枕詞

もゝしきの 真脈 枕詞

もゝしきの 真息 枕詞

もゝしきの 真命 枕詞

もゝしきの 真寿 枕詞

もゝしきの 真福 枕詞

もゝしきの 真徳 枕詞

もゝしきの 真道 枕詞

もゝしきの 真理 枕詞

もゝしきの 真実 枕詞

もゝしきの 真心 枕詞

もゝしきの 真情 枕詞

もゝしきの 真意 枕詞

もゝしきの 真志 枕詞

もゝしきの 真思 枕詞

もゝしきの 真念 枕詞

もゝしきの 真想 枕詞

もゝしきの 真観 枕詞

もゝしきの 真見 枕詞

もゝしきの 真聞 枕詞

もゝしきの 真知 枕詞

もゝしきの 真識 枕詞

もゝしきの 真智 枕詞

もゝしきの 真慧 枕詞

もゝしきの 真明 枕詞

もゝしきの 真照 枕詞

もゝしきの 真輝 枕詞

もゝしきの 真光 枕詞

もゝしきの 真色 枕詞

もゝしきの 真彩 枕詞

もゝしきの 真模様 枕詞

もゝしきの 真図 枕詞

もゝしきの 真絵 枕詞

もゝしきの 真写 枕詞

もゝしきの 真似 枕詞

もゝしきの 真倣 枕詞

もゝしきの 真学 枕詞

もゝしきの 真習 枕詞

もゝしきの 真稽古 枕詞

もゝしきの 真修行 枕詞

もゝしきの 真工夫 枕詞

もゝしきの 真研究 枕詞

もゝしきの 真探究 枕詞

もゝしきの 真追求 枕詞

もゝしきの 真探索 枕詞

もゝしきの 真捜索 枕詞

もゝしきの 真調査 枕詞

もゝしきの 真検査 枕詞

もゝしきの 真鑑定 枕詞

もゝしきの 真評価 枕詞

もゝしきの 真判定 枕詞

もゝしきの 真決定 枕詞

もゝしきの 真確定 枕詞

もゝしきの 真断定 枕詞

もゝしきの 真結論 枕詞

もゝしきの 真帰結 枕詞

もゝしきの 真終結 枕詞

もゝしきの 真完結 枕詞

もゝしきの 真成就 枕詞

もゝしきの 真達成 枕詞

もゝしきの 真実現 枕詞

もゝしきの 真具現 枕詞

もゝしきの 真体現 枕詞

もゝしきの 真表現 枕詞

もゝしきの 真発現 枕詞

もゝしきの 真顕現 枕詞

もゝしきの 真出現 枕詞

もゝしきの 真登場 枕詞

もゝしきの 真退場 枕詞

もゝしきの 真消滅 枕詞

もゝしきの 真滅亡 枕詞

もゝしきの 真終焉 枕詞

もゝしきの 真最期 枕詞

もゝしきの 真臨終 枕詞

もゝしきの 真死 枕詞

もゝしきの 真葬送 枕詞

もゝしきの 真埋葬 枕詞

もゝしきの 真墓 枕詞

もゝしきの 真墓所 枕詞

もゝしきの 真墓地 枕詞

もゝしきの 真墓場 枕詞

もゝしきの 真墓標 枕詞

もゝしきの 真墓碑 枕詞

もゝしきの 真墓石 枕詞

もゝしきの 真墓誌 枕詞

もゝしきの 真墓銘 枕詞

もゝしきの 真墓碑銘 枕詞

もゝしきの 真墓誌銘 枕詞

もゝしきの 真墓碑文 枕詞

もゝしきの 真墓誌文 枕詞

もゝしきの 真墓碑銘文 枕詞

もゝしきの 真墓誌銘文 枕詞

もゝしきの 真墓碑銘文章 枕詞

もゝしきの 真墓誌銘文章 枕詞

もゝしきの 真墓碑銘文章表現 枕詞

もゝしきの 真墓誌銘文章表現 枕詞

もゝしきの 真墓碑銘文章表現技法 枕詞

もゝしきの 真墓誌銘文章表現技法 枕詞

もゝしきの 真墓碑銘文章表現技法修辞 枕詞

もゝしきの 真墓誌銘文章表現技法修辞 枕詞

もゝしきの 真墓碑銘文章表現技法修辞学 枕詞

もゝしきの 真墓誌銘文章表現技法修辞学 枕詞

もゝしきの 真墓碑銘文章表現技法修辞学研究 枕詞

もゝしきの 真墓誌銘文章表現技法修辞学研究 枕詞

もゝしきの 真墓碑銘文章表現技法修辞学研究所 枕詞

もゝしきの 真墓誌銘文章表現技法修辞学研究所 枕詞

もゝしきの 真墓碑銘文章表現技法修辞学研究所長 枕詞

もゝしきの 真墓誌銘文章表現技法修辞学研究所長 枕詞

もゝしきの 真墓碑銘文章表現技法修辞学研究所長殿 枕詞

もゝしきの 真墓誌銘文章表現技法修辞学研究所長殿 枕詞

もゝしきの 真墓碑銘文章表現技法修辞学研究所長殿様 枕詞

もゝしきの 真墓誌銘文章表現技法修辞学研究所長殿様 枕詞

もゝしきの 真墓碑銘文章表現技法修辞学研究所長殿様御 枕詞

もゝしきの 真墓誌銘文章表現技法修辞学研究所長殿様御 枕詞

もゝしきの 真墓碑銘文章表現技法修辞学研究所長殿様御机下 枕詞

もゝしきの 真墓誌銘文章表現技法修辞学研究所長殿様御机下 枕詞

もゝしきの 真墓碑銘文章表現技法修辞学研究所長殿様御机下侍史 枕詞

もゝしきの 真墓誌銘文章表現技法修辞学研究所長殿様御机下侍史 枕詞

もゝしきの 真墓碑銘文章表現技法修辞学研究所長殿様御机下侍史足下 枕詞

もゝしきの 真墓誌銘文章表現技法修辞学研究所長殿様御机下侍史足下 枕詞

もゝしきの 真墓碑銘文章表現技法修辞学研究所長殿様御机下侍史足下閣下 枕詞

もゝしきの 真墓誌銘文章表現技法修辞学研究所長殿様御机下侍史足下閣下 枕詞

もゝしきの 真墓碑銘文章表現技法修辞学研究所長殿様御机下侍史足下閣下尊前 枕詞

もゝしきの 真墓誌銘文章表現技法修辞学研究所長殿様御机下侍史足下閣下尊前 枕詞

もゝしきの 真墓碑銘文章表現技法修辞学研究所長殿様御机下侍史足下閣下尊前玉案下 枕詞

もゝしきの 真墓誌銘文章表現技法修辞学研究所長殿様御机下侍史足下閣下尊前玉案下 枕詞

もゝしきの 真墓碑銘文章表現技法修辞学研究所長殿様御机下侍史足下閣下尊前玉案下執事 枕詞

もゝしきの 真墓誌銘文章表現技法修辞学研究所長殿様御机下侍史足下閣下尊前玉案下執事 枕詞

もゝしきの 真墓碑銘文章表現技法修辞学研究所長殿様御机下侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史 枕詞

もゝしきの 真墓誌銘文章表現技法修辞学研究所長殿様御机下侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史 枕詞

もゝしきの 真墓碑銘文章表現技法修辞学研究所長殿様御机下侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下 枕詞

もゝしきの 真墓誌銘文章表現技法修辞学研究所長殿様御机下侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下 枕詞

もゝしきの 真墓碑銘文章表現技法修辞学研究所長殿様御机下侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下 枕詞

もゝしきの 真墓誌銘文章表現技法修辞学研究所長殿様御机下侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下 枕詞

もゝしきの 真墓碑銘文章表現技法修辞学研究所長殿様御机下侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前 枕詞

もゝしきの 真墓誌銘文章表現技法修辞学研究所長殿様御机下侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前 枕詞

もゝしきの 真墓碑銘文章表現技法修辞学研究所長殿様御机下侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下 枕詞

もゝしきの 真墓誌銘文章表現技法修辞学研究所長殿様御机下侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下 枕詞

もゝしきの 真墓碑銘文章表現技法修辞学研究所長殿様御机下侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事 枕詞

もゝしきの 真墓誌銘文章表現技法修辞学研究所長殿様御机下侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事 枕詞

もゝしきの 真墓碑銘文章表現技法修辞学研究所長殿様御机下侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史 枕詞

もゝしきの 真墓誌銘文章表現技法修辞学研究所長殿様御机下侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史 枕詞

もゝしきの 真墓碑銘文章表現技法修辞学研究所長殿様御机下侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下 枕詞

もゝしきの 真墓誌銘文章表現技法修辞学研究所長殿様御机下侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下 枕詞

もゝしきの 真墓碑銘文章表現技法修辞学研究所長殿様御机下侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下 枕詞

もゝしきの 真墓誌銘文章表現技法修辞学研究所長殿様御机下侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下 枕詞

もゝしきの 真墓碑銘文章表現技法修辞学研究所長殿様御机下侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前 枕詞

もゝしきの 真墓誌銘文章表現技法修辞学研究所長殿様御机下侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前 枕詞

もゝしきの 真墓碑銘文章表現技法修辞学研究所長殿様御机下侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下 枕詞

もゝしきの 真墓誌銘文章表現技法修辞学研究所長殿様御机下侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下 枕詞

もゝしきの 真墓碑銘文章表現技法修辞学研究所長殿様御机下侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事 枕詞

もゝしきの 真墓誌銘文章表現技法修辞学研究所長殿様御机下侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事 枕詞

もゝしきの 真墓碑銘文章表現技法修辞学研究所長殿様御机下侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史 枕詞

もゝしきの 真墓誌銘文章表現技法修辞学研究所長殿様御机下侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史 枕詞

もゝしきの 真墓碑銘文章表現技法修辞学研究所長殿様御机下侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下 枕詞

もゝしきの 真墓誌銘文章表現技法修辞学研究所長殿様御机下侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下 枕詞

もゝしきの 真墓碑銘文章表現技法修辞学研究所長殿様御机下侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下 枕詞

もゝしきの 真墓誌銘文章表現技法修辞学研究所長殿様御机下侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下 枕詞

もゝしきの 真墓碑銘文章表現技法修辞学研究所長殿様御机下侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前 枕詞

もゝしきの 真墓誌銘文章表現技法修辞学研究所長殿様御机下侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前 枕詞

もゝしきの 真墓碑銘文章表現技法修辞学研究所長殿様御机下侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下 枕詞

もゝしきの 真墓誌銘文章表現技法修辞学研究所長殿様御机下侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下 枕詞

もゝしきの 真墓碑銘文章表現技法修辞学研究所長殿様御机下侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事 枕詞

もゝしきの 真墓誌銘文章表現技法修辞学研究所長殿様御机下侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事 枕詞

もゝしきの 真墓碑銘文章表現技法修辞学研究所長殿様御机下侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史 枕詞

もゝしきの 真墓誌銘文章表現技法修辞学研究所長殿様御机下侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史 枕詞

もゝしきの 真墓碑銘文章表現技法修辞学研究所長殿様御机下侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下 枕詞

もゝしきの 真墓誌銘文章表現技法修辞学研究所長殿様御机下侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下 枕詞

もゝしきの 真墓碑銘文章表現技法修辞学研究所長殿様御机下侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下 枕詞

もゝしきの 真墓誌銘文章表現技法修辞学研究所長殿様御机下侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下 枕詞

もゝしきの 真墓碑銘文章表現技法修辞学研究所長殿様御机下侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前 枕詞

もゝしきの 真墓誌銘文章表現技法修辞学研究所長殿様御机下侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前 枕詞

もゝしきの 真墓碑銘文章表現技法修辞学研究所長殿様御机下侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下 枕詞

もゝしきの 真墓誌銘文章表現技法修辞学研究所長殿様御机下侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下 枕詞

もゝしきの 真墓碑銘文章表現技法修辞学研究所長殿様御机下侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事 枕詞

もゝしきの 真墓誌銘文章表現技法修辞学研究所長殿様御机下侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事 枕詞

もゝしきの 真墓碑銘文章表現技法修辞学研究所長殿様御机下侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史 枕詞

もゝしきの 真墓誌銘文章表現技法修辞学研究所長殿様御机下侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史 枕詞

もゝしきの 真墓碑銘文章表現技法修辞学研究所長殿様御机下侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下 枕詞

もゝしきの 真墓誌銘文章表現技法修辞学研究所長殿様御机下侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下 枕詞

もゝしきの 真墓碑銘文章表現技法修辞学研究所長殿様御机下侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣 枕詞

もゝしきの 真墓誌銘文章表現技法修辞学研究所長殿様御机下侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣 枕詞

もゝしきの 真墓碑銘文章表現技法修辞学研究所長殿様御机下侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下 枕詞

もゝしきの 真墓誌銘文章表現技法修辞学研究所長殿様御机下侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下尊前玉案下執事侍史足下閣下

もえぎ 色ニ出ヅ 萌黄 萌葱ニ言ヲ出

四言 もゆひ 和毛乃由比註以組束髪也 髻

もえぐひ 和毛延久比註火餘木也 燼

もゆほり 雲具ニ和毛度保利 旋子

もゆほー もゆほへー もゆほり 吉母登本斯紀茂昔隋之 続紀廻縁 廻字趙

もよほす 春虫の漸々こゝろよく出るようふべー 催

もむふ 陸奥郡和毛牟乃不 桃生

も

与云毛牟乃不ハもゝめふと訓ヘー新万ニ山部ノ老年不死手あるあり

字社稷須ノ良於保毛止并

もろる 備前郷和毛乃呂鳥 物理

五言 ものぐるひ 病名ニ和毛乃久流比又太布流 癲狂

もぐづるふ 冠辞ニ吉毛ゝ豆多布紀同 百傳

もぬけがは

もひきりの

つのさ 盲名ニ和毛比乃里乃豆加佐 主水司

字毛奴介加波 蜕

春云男女を通ていふもやまとことばの俗語なり

男おやむを女おやむをもゝといふ俗誤なり故ふもろ〳〵

○也部

一言 や 也、夜、耶、揶、娜、琊、揚、野、躭、移音 哉、室、屋、矢、八訓

二言 やへ 古夜弊紀万同 八重 又弥重の略

やほ 吉夜ノ本 八百 又弥百の略

やもを 無妻ニ和夜無乎 鰥夫

やもめ 無夫ニ和夜無米 寡婦

やまひ

三言 やいば 焼双ニ義を以ヲ通ハす 刃

やはず 和夜波須註箭受弦処ニ 筈

やど

和夜方比 病

字也志利註箭筈ニ 鏃

やらひ やらふ やらへ 吉神夜良比ノ夜良比賜紀逐之訓夜羅賦 今本夜を波ニ誤 逐又儺

或ハ和字嘗ルノ意ハ似て假字遣ヘり和ハ也波弱ハ与和ニ耶ハ与乎ハ後ニ通

やよひ 草木弥生の畧 三月

や

○伊部　既出阿行伊部

八言

やもものを 方 夜蕪登 毛乃乎　八十伴緒

六言

やまのうけち 和 夜末乃加介知 註山路闇道也　磯道

やまのへのこけ 屋上菅ノ 和 夜 乃倍乃古介　屋遊

やそ

やまびこらぎ

五言

やからぐさ 草ノ 和 夜 波良久佐　黄蓍

やまぶくき 草ノ 和 也 末不乃支　欵冬

やまのひ 山間ノ 和 山乃加比　峡

やうらのひ

やほふよ

八訶の日ノ也を延て也宇叻云　八日

やまいばこ 調度ノ津國郷 楊津と也奈以豆々 云加久也奈岐の岐と以ふ通ハす　楊笛

やまのへのひ

四言

やーはご 曾孫の子ノ 和 夜之波古　玄孫

やいづこ 紀 野伊 徒姑　姑

やまゐづ 古 夜麻多豆 註是今造木者也 和 鍬ノ多都岐 註廣又笞也云ゝ　黄精

やいぐし 炙肉具ノ 和 夜以久之　弗綜

やいらぐやい 方 夜波 之祝 同　和

やいばた 火田ノ 和 也以八太 ○今の畑の字ハ火田ニ

やいづ 津國郷 和 也奈以豆　楊津

やまゐ 草ノ 字 恵弥又安方奈 和 於保恵美又夜末恵美　黄精

やぐひ 盛矢器ノ 字 也 奈久比 和 同　箙 字 靫

やーふひ 紀 挪始儺破務 字 也志奈不　養

やーる 本耶ニノ其耶と延て耶宇 古本神樂哥 也宇也宇　漸

やまたへ 和泉郷 和 也末多倍　山直

やごのばえ 木の繁ヲ云 舌 夜賀 波延 紀 耶餓波曳

やもめ 寡ヲ云ハ音便ノ

古今集の詞ふるぬるの日々うつの日々もろ々ふハ活とでむうるくへ多いくるとの一つの之日ふ書うれ之ハ浪く

又神のめ一やもめ ゆきハ又ふくふ ゆきハ又ふくふ ものまゐ ふくふ ふくふ ふくふ

春雨もふくハやふくと同一つの一つ ふるふハあ一ハ やとらともいてくし さて和字の義ふを一古本今背物語ふ和の字と云 狭衣ふ戸のやとら ゆるふくとふ ふ一本やらとも

○由部

一言

ゆ 由、遊、游、吏、庾、愈、喩、踰、瑜 音 湯、從、自 訓

二言

ゆゑ 紀 吏 衛 湯坐

ゆゑ 古 由惠 紀 万 同 故

ゆふ 万 木綿を訓 豊後風土記 抽富 古本神樂哥 由不 ゆふハもゝ野

ゆふ 暮と古 由布佐 乳婆 万 由布 夕

三言

ゆふべ 万 由布 敞 夕

ゆく 万 往方 後ネゆ くもゆ云ハ誤

ゆはず 弓末と万 弓弦 受和由美波数 弭

ゆづる 備前郷和 由介比 靫負

ゆふき 下總郡く 和由不岐 結城

ゆひ ゆふ ゆへる 万 由比 又由布 結

ゆづる 伝足石哥 由豆利 竟宴哥由都留 譲

ゆふさり 暮と字 由不 佐利

ゆみいる 和由美 以須 射

ゆづるは 木と万 由 豆流波 交譲

ゆみづら 和由美都加計 弓之中央也 弭

ゆはり 弦

ゆみづる 和由美 都流 弦

ゆのあわ 和由乃阿和俗云 由王註焚石波也 硫黄

ゆふづく 星と和由不豆 豆註暮見酉 太白星 長庚

ゆふづほ 蔓竹と万 タハ二言 顔ハ加部る出 夕顔

ゆふさる 在大和万 遊副河

ゆふつゝ 万 由布豆豆 夕月

ゆふさゝば 万 由 布佐礼婆 万 同

ゆふさゝば 祝 由麻 波利 斎

ゆまかへ ゆきかふ 万 往反と訓 新万 往 買。買ハ借字加比と 往反

ゆ

ゆまかへ ゆきかふ 和由佐波利註以綵 縄懸空中以為戯也 鞦韆

五言

ゆふさゝば 万 由 布佐礼婆 万 同

夜

○延部　既出于阿行延部

○與部

一言

よ　與。与同。豫。預同　餘。余同　用。容。欲。譽。庸。遙。音

夜。宵。世。代。

好。吉。歯。四。訓

二言

よひ　紀豫譽　万同　初夜　すべての夜をもいふ

よは　夜るに渡ハまふ遍、朝間昼ヲ夕同のるに、夜半ヲ去ハ借字かみ　夜

三言

よはひ　貢宴哥　与波比　齢

よばひ　百用　婆比　結婚

よほろ　迫江郷丁野と和与

よろ

よろひ　よろふ　よろへる　語意上同　和与路比　鎧　甲

よろふ　備足ノ　万　取与呂布

よちよづ　援引し　万保都　枝與治等理　攀

よちづ　保乃　ヲ六　丁

方九十取而引与治灵仇傷与波不

春式和名抄ニ胸和名与保呂曲脚中也とそのヿとそほろとも云ことなり、うたふ云詞ありをハヿといふ脚とつゞくよものふれハ

づ　紀豫呂豆　万同　仏足石哥同　万　萬同

よそひ　よそふ　よそへる　古与曽比　紀万同　儀

よをり　初ハ遠部ニ在　節

よそほひ　よそほふ　上のよそひふ同　仏足石哥与曽保比　儀　粧同

よそへ　よそふ　よそへる　此を彼ふ比するし　万与曽倍

よそぢ　みそぢめ

よろぼひ　よろぼふ

折　事ハ式江次ノ事ヲ出ス

よをり　撓ノ哥ニ見ユ

よみぢ　黄泉道の畧

四言

よそほひ　よそほふ　上のよそひふ同　仏足石哥与曽保比　儀　粧同

よそへ　よそふ　よそへる　此を彼ふ比するし　万与曽倍

よろぼひ　よろぼふ

よろぼぎ　草し　和与呂比久佐又加佐毛知　子子弥還　註更生し

よばひぼし　和与ハ比保之

よちをざし　和乎佐之又与知乎佐之註ニ竹貫魚ノ

よろひぐさ

よみがへる

條ふ　四十

よをり　初ハ遠部ニ在　節

よみぢ　黄泉道の畧

五言

よばひぼし　和与ハ比保之

よちをざし　和乎佐之又与知乎佐之註ニ竹貫魚ノ

よろひぐさ　流星

よみがへる　飯

古本催馬楽哥与呂保比

遂迦

横タワルし　古本風俗哥譜　甲要哥与古保利太天流

古目弱王と紀肩輪王ノ哥あり輪ハ陸ノ字ニ望縢と於毛与和志面弱し

弱柔

よそぢ　みそぢめ

六十

○良部

一言	等
ら	良。浪。羅。囉。邏。擺。樂。音 訓

○利部

一言	等
り	利。唎。梨。犂。里。理。裡。離。隣。音

○留部

一言	等
る	留。流。琉。瑠。類。累。盧。蘆。屢。樓。音

○礼部

一言	等
れ	礼。禮同。例。戻。黎。連。聯。憐。列。烈。音

○呂部

一言	等
ろ	呂。侶。路。露。稜。魯。廬。虜。廬。樓。漏。音

○和部

一言

わ 和。倭。王。淀。九 音

輪。回。廻。轉。吾。已 訓

三言

わらは 字和良 波和同 童

わざへ 古和岐 弊紀同 吾家

わらひ ろふ 咲 嗤

四言

わたづみ 和和良布太 註草稱也 海神之後亦海之總名也 紀和多都美 和同

圓座

わづらひ ろふ 方和豆 良比 煩

そらはべ 和和良波倍 註童男女也 假子

わざはひ 伊勢部ノ

わざをぎ 字和 良不 笑

わくらは 方和久 良葉 邂逅

わらやみ 和和良波夜美又夜夜 美註二日一發之病也 瘧

わづのやま 地名 方和 豆香山

わすらふ 字和奈々久 又乎乃々久 惜

わさま 倍不 通 靴

ひ 三代実録 宍比 禍

わたらひ 紀 俳優をわざをぎと訓 古本神樂哥 加良乎支也あると合せて假字 常ゐ世渡ルをたらひ良比の約利 活

わぬらひ

濱云字鏡ゐ諧獨歌也又後歌為諧和佐宇太とゐふて思ゐ正歌ゐあらぬれに和佐宇太といひ正歌ゐあらぬれ

わらふは ゐ笑ふをわらふといふ古へ笑ふといふ事なくわらふといふ事ありしなり

わさヲギといふの假字の濁ふあらねど歌ゐの假名ゐもてきぬ俗ゐわざくれすへ止にとるもはし云

えやみのみわざくれすへ止にとるもはし云

字鏡原本ゐも井中出とあるをこゝにて虫の字を誤まるゐ字彙ゐ蝟井中出也とあり

五言

わらはやみ 和和多 良比 度會

わくらは 方和久 良葉 邂逅

わづのやま 地名 方和 豆香山

井。居。座。坐。處。猪。羣。

三言

みのこ 紀偉 能古 豕

みもり 字為毛利註 蠶也井中出 蛹

みぬるみぬー

二言

みる 和為流註 舩著沙不行也 艘

みい 遠江郷ノ 和為以 渭伊

みる 和為流註 著沙不行也 艘

豕。豖。闖。率 訓

蝙蝠 二字一言和為註其 貌似蛇而大者也

一言

み 爲。委。萎。位。威。韋。偉。渭。謂 音

○爲部

濱云古事記傳七十九伊佐宮の假字とせり考合へ〳〵

本居氏も田居中の畧語ニハあらまし〳〵さやう〳〵なりけんと古本今昔物語ノ田居中の詞あるをハその約語あるんといふもむもことわりとあり

緒ハ猪の誤ヶ

濱云和名抄ようて載られとハ誤し畧本和名抄ふ伊

五言

みのゝ〳〵き 草ノ 和爲乃乃支 **赭魁**

みのくつゝ 草ノ 字爲 和爲乃久豆知 和知字相似たり、づまらもう〳〵ん 字又爲乃伊比 **牛膝**

みちごま免 豆ノ 和爲 知古末米 **珂孛豆**

四言

みさらひ 和爲佐良比 註坐處也 **髀肉**

みてゆく 率往ノみハ比 岐爲の畧ノ

みのあー 和爲乃阿之註 機之巻繒者ノ **織複**

さり 農具ノ 和爲佐利 **耒底**

於 又讃岐郷 和同上 **井上** 又同國郷 **井門**

みやび 続紀爲後備ノ畧ハみやまひ 和てうふまひる同爲字通 **禮**

みのへ 河内郷ノ 和爲乃倍 **井**

せきみせ〳〵 字爲世久 和爲世支註坐、過水也 **堰埭**

みざり 居去ノ **膝行**

みをこ 万居中 和爲奈加ノ田居中の略 **田舎**

みぐひ 古韋具比 紀字同 **堰掇** 字拭

みな **みな**

三言

名る 剌ノ仏足石哥恵利 字剣ノ久 自利恵留 和鈴ヲ加布良恵利 **雕** 又彫

名そ 能登郷ノ 和恵曽 **越蘇**

名ゝし 酒ハ名ふまり 古恵比 万字同 **醉**

名ゝり 和恵乃利 註屠牛馬肉取賣者也 云、或説今の恵多ゝらふものハ此恵乃利の轉せる欤といへり **屠兒**

名ゝこ 人笑ノ時頌中見 者字 和恵久保 **靨**

名くぼ 犬ノ子ノ 和狗尾草ノ恵奴乃古久佐と有 **豕**

名ゝり 和恵乃利 註屠牛馬肉取賣者也 **屠兒**

名ゝし 仏足石哥恵利 字剣ノ久 自利恵留 和鈴ヲ加布良恵利 **雕** 又彫

名そ 能登郷ノ 和恵曽 **越蘇**

名み 草ノ 字恵弥又安万奈 和於保恵美又夜末恵美 **笑**

名ぐ 菓類ノ鳥羽華の小者ノ 万恵具

名ぬ 獣ノ 和恵奴又以奴 **犬**

二言

名ぬ 獣ノ 和恵奴又以奴 **犬**

名ぐ 菓類ノ鳥羽華の小者ノ 万恵具

名み 草ノ 字恵弥又安万奈 和於保恵美又夜末恵美 **笑**

名ゝし 酒ハ名ふまり 古恵比 万字同 **醉**

名そ 能登郷ノ 和恵曽 **越蘇**

一言

名 恵、衛、回、隈、穢、會、繪音 **咲、餌**訓

○恵部

○宇部 既出于阿行宇部

濱云家ハみのこと犬子ハいぬのこゐて名ぬのことをおくて一家の字ハ当ら〳〵

雕恵剌又改并同

知古万米ようふもこと〳〵一貫盆子に似〳〵〳〵名つけしこと也のをろ〳〵ハ即本和名抄る鞭等多〳〵心てそる〳〵さて此語ハうとハ削ら以部ゐいちこともめとて失〳〵

一言 を

表。遠。乎。呼。弘。烏。嗚。塢。怨。越。叫。惜。廻。惡 音

夫。士。丁。雄。牡。尾。小。少。緒。絃。麻。苧。峯。岑。岡。丘。侵。矣 訓

男。陽。

二言

呼吟 二字一言 和泉郷 和乎

をぢ 父の兄弟之 字乎地 和同 伯父 叔父仲父李父同

をぢ 紀烏臧 万同 老公羽

をば 父の姉妹

をー 烏之 紀烏 忘和同 鴛鴦

をー 舌乎 志紀

をす 古教須又 衰勢紀同 食

をそ 水獣之 和乎曽 獺

をそ 鴬 万於保乎曽村里の乎曽ハ分正字

をか 高處之古 衰加紀万同 岡 又丘

をの

をぎ 草之 万乎 伎字 和同 荻

をけ 汲器之 和乎計 桶

をさ 万乎左 長

をさ 機具之 字

をぢ 父の兄弟之 字乎婆 和同 伯母 叔母

をー 惜ハ轉之 万同 愛

をー 兄弟の子 字和乎比 甥

をひ 兄弟之 字和 乎比

をと 男之 万乎 古教須又 衰勢紀同 弟

をと 鳥之 紀烏 万同 鷲

をと 舌乎 志紀

をと 於保乎曽村里の乎曽ハ分正字

をと 機具之 字

をと 万乎 古 衰勢紀同 男

をと 万乎 古 衰勢紀同 夫

をと 万乎 古 衰勢紀同 雄

をと 万乎 古 衰勢紀同 壮

をと 万乎 古 衰勢紀同 丈

をと 万乎 古 衰勢紀同 大

をと 万乎 古 衰勢紀同 乙

をと 万乎 古 衰勢紀同 音

をと 万乎 古 衰勢紀同 訓

をと 万乎 古 衰勢紀同 訓

をと 万乎 古 衰勢紀同 訓

春云晴蛉日記ともの
のくのちのの名にも
つかまつりつかうまつ
しのをろがはにもをろがみ
もをろがむなどいひ
おがむ此假字を
感ずる意あるもの
あるべきをもおもと
云説は誤と春くハ
假字拾要ふいへる
濱士大人の説ふ從へ
ー猶委きを餘論
ハ字が別考ふらし

濱云犯ハれ守の假
字と春くハ別考ふ

犯ハおかすよりおかすハうちおかすハト同じ意ノ語より

四言

をむなし

正嫺ふあーぬを云和乎無奈女　妾

をさなし

長稚し長ハ二言ふ出　稚

をさだ

駿河伊豆和乎佐多　他

をさ

万乎波里又乎倍　終

をしへ

万乎波里又乎倍　教

をしへ

万乎波里又乎倍　敎

をしふ

和鶺鴒を刀豆支乎之閇土里竟宴哥表志幣
続紀今本宣命ふ教ふやまあるハ後人の写誤く　教

をしみをけり

紀嗚呼惜矣　愛惜ハ轉ん

をつ

万乎都々うつ同　現

をはり

國ん和乎波里　尾張

をさ

信濃郷和乎宇奈　小内

をはぎ

蒿ん於部ふ説あり見合すべし

をさをし

万乎波里又乎閇乎呼里　治

をさむ

万乎佐牟和寛宥哥同　治又修

をがむ

推古紀烏呂餓弥呂ゃ云ふ事まて折屈ふ　拝

をけら

草ん字乎　朮

をこぜ

魚ん字乎已自和同　鱚魚

をざさ

和乎佐之又与知乎佐之註以竹貫角也　鮫

をけら

草ん字乎　朮

をこの次

万侵を乎の假名ふ用　犯又侵

をこぜ

介良和同　朮

をばな

薄擣ん万乎波奈古今物名同　尾花又男花

をさむ

万乎佐牟和寛宥哥同　治又修

をがむ

推古紀烏呂餓弥呂ゃ云ふ事まて折屈ふ　拝

をしへ

紀烏智万同　遠

をり

万乎流　居

をりをる

古衣理紀同万乎流　居

をりをる

万乎利　折

をち

紀烏智万同　遠

をち

阿波郡和乎恵　脉殖

をち

万遠知米也毛ゝ終ぐう和かうぐう云　遠

をち

万乎利　折

をち

裏乎利　脚

をち

古遠賀古紀万同和乎乃古　男

をとこ

少女ん古　男

をとこをらこ

古衣美那古本催馬乱字同遠無奈ゝ唱ふハ音便　女

をとこをみな

古衣美那紀烏同和乎美奈　童男

をとめ

万乎波里又乎倍　少女又幼女處女

をとこ

男烏ん和乎土里　雄

をとこ

万乎波里又乎倍　少女又幼女處女

をとこ

遠登賣紀万同乙女や書ハ誤ふ乙の假字ハ於登ふ　少女又幼女處女

をぐら

紀烏具奈　童男

をぐり

和小養雑乎土里能抱引野雉也乎度利　媒鳥

をぐり

和小養雑乎土里能抱引野雉也乎度利　媒鳥

をさ

長女の意ふ和乎佐米　尊

をさをさ

長耳小獣万字乎佐婆和字体古　兎

をさ

万乎抒里字同　尊

をさ

少女ん古　少

をさ

長女の意ふ和乎佐米　尊

をさをさ

長耳小獣万字乎佐婆和字体古　兎

をさ

万乎抒里字同　尊

をさ

少女ん古　少

をしへ

紀烏智万同　遠

をり

万乎流　居

をりをる

古衣理紀同万乎流　居

をりをる

万乎利　折

をち

紀烏智万同　遠

をち

阿波郡和乎恵　脉殖

をち

万遠知米也毛ゝ終ぐう和かうぐう云　遠

をち

裏乎利　脚

をち

古遠賀古紀万同和乎乃古　男

をとこ

少女ん古　男

をとこをらこ

古衣美那古本催馬乱字同遠無奈ゝ唱ふハ音便　女

をとこをみな

古衣美那紀烏同和乎美奈　童男

をとめ

万乎波里又乎倍　少女又幼女處女

をとこ

男烏ん和乎土里　雄

をとこ

万乎波里又乎倍　少女又幼女處女

をとこ

遠登賣紀万同乙女や書ハ誤ふ乙の假字ハ於登ふ　少女又幼女處女

をぐら

紀烏具奈　童男

をぐり

和小養雑乎土里能抱引野雉也乎度利　媒鳥

をぐり

和小養雑乎土里能抱引野雉也乎度利　媒鳥

をさ

長女の意ふ和乎佐米　尊

をさをさ

長耳小獣万字乎佐婆和字体古　兎

をさ

万乎抒里字同　尊

をさ

少女ん古　少

をこぜ

介良和同　朮

をばな

薄擣ん万乎波奈古今物名同　尾花又男花

をさむ

万乎佐牟和寛宥哥同　治又修

をがむ

推古紀烏呂餓弥呂ゃ云ふ事まて折屈ふ　拝

をけら

草ん字乎　朮

をこぜ

魚ん字乎已自和同　鱚魚

をざさ

和乎佐之又与知乎佐之註以竹貫角也　鮫

をけら

草ん字乎　朮

をこの次

万侵を乎の假名ふ用　犯又侵

をこぜ

介良和同　朮

をばな

薄擣ん万乎波奈古今物名同　尾花又男花

をさむ

万乎佐牟和寛宥哥同　治又修

をがむ

推古紀烏呂餓弥呂ゃ云ふ事まて折屈ふ　拝

新万 祈蝿乎

をうへへ時延ふ〳〵時長〳〵つゞく事を云とあくご本居氏の説まもる〳〵

万七廿丁乎知許知

ちゝき 仏足石哥 乎遅奈伎 懦弱

をぎ 万 乎 登 都日 前日

をぎむ 屈伸する虫心常ふ尺取虫と云 和 乎伎無之 蚨蠖

をぎ 柔皮〳〵和 乎之加波 韋

をぎ〳〵 長〳〵 万 乎 佐乎左毛

をの 万 乎 乃々 久々和奈ヒ久 惜

をり

づら 木〳〵和 乎 加豆良 楓

をゝこのハ

をたけび 雄たける 紀 鳥多 鶏鷹 雄詰

をのく 懼〳〵字乎乃々 久々和奈ヒ久 惜

をのごゝろ 上の 例 前年

をもて 万 乎 母 弖 面

をもぢ 上の 例 前年

をもてち をもハ遠〳〵 三言ふ出 彼此

へ 時合ふ らん

をつくは 万 乎 豆久波 をハ発語〳〵 筑波

をぶすま 武蔵郡 和 乎夫須万 男衾

をぢ 万 乎 遅 男衾

をとこ 万 乎 美奈敝 和同 娘部志

をとこやま 草〳〵 万 乎 加土ヶ岐 符蘆

をとめ 草〳〵 和 乎 加豆ヶ之

専

五言

をみなへし 女と唱 草〳〵 万 乎 美奈敝之 古今物名 和同

をとこやま 草〳〵 和 乎 加土ヶ岐 符蘆

をとめ 草〳〵 和 乎 加豆ヶ之

万乎刀之 赤箭

六言

をゝこばら 字 橋梁之左右之 柱也 乎刀古柱 幢柄

をのこやもめ

又仁豆ヶ之 茜芊

をちがへる 鴬郭公おぼのくるおかへ鳴 ホ天二言のをちかり同意〳〵

七言

をさむるつのさ 官名〳〵 和 乎佐 牟留都加佐 治部省

をのこもの 万 雄自毛能 又男士物

九言

をさをつくろつのさ 官名〳〵 和 乎佐米 豆久留都加佐 修理職

良 乎乃古 夜母女 鰥

昭和のはじめ比八月みあつ免終ぬ

下つ狐のまなる楫取魚彦

大人の考のさだしるを猶ふかくをえおもはずしてあらそひ

享和二年四月望　演臣

まのあたりの如くこもさこそいやつゝまさきかくめる

弘化三丙午春　山田常典

寛政七年四月　平春海

そをかもかくる假字國郡の名のうち又和字四十五のあやもりかるあとハ假字拾要みくりくまるもまじりかゝるあとハ假字ともまじりかゝるあとハ今世の人の考へ

齊仁紀八十七年春二月云、大中姫薨曰、吾手弱女人也、何能登天神車、神車此云美許屋俱瑠麻、五十瓊敷命曰、神車雖高、我能為神車造、豈煩當庫乎、故諺曰、神之神車隨刺擬之歟其緣也

雄略紀十二年、是命水工開維御田始起樓閣於是御田登樓縱走四方、有着鵄飛行云、

同十三年、曰水工猪名部真根、造石為質、擬斧劉斫終日劉之不誤、偏歎及云、

推古紀十四年夏四月乙酉朔壬辰、銅繡丈六佛像并造竟、是日也、丈六銅像坐於元興寺

（イニシヘノ　コトモ）

（ワザ）（ニ）（カミ）（ノ）（ホド）

（ラモ）（ハシ）（タテ）

（ヒト）（ハシ）（ダ）（コトバ）（ヲ）

（ヒト）（ハシ）（ヲ）（ナ）

（ヤ）（ガ）（テ）（タカ）（キ）

（ハシ）（ダテ）（ナル）

（ソタクミニ）（ツク）（ラ）

（モ）（カ）（キ）

（ズ）（テ）（タカ）（キ）

（ヒト）（アリ）（ノ）（ナ）

（ノボ）（モ）（ラフヨ）（ニ）

（ア）（ラ）

金堂時佛像圓坐堂戸以不得納堂於是諸工大等議曰破堂戸而納之然轜作鳥之形工以不壞戸得入像云 太子傳第三亦載此事

雄略紀十三年秋九月木工猪名部真根 ミヤツコ 善有同伴巧者數惜真根而作歌曰 枳羅斯枳儞離謎能陀倶弥柯該志須弥離儲 三書

山田常助增補
江戸書林 英 文藏梓

江都書林 下谷御成道 青雲堂英文藏板

小學本註	二冊	増補文語砕金	二冊
八面鋒	四冊	扶桑蒙求	三冊
宋名家詩選	二冊	晩唐百家絶句	五冊
題画詩類鈔	二冊	香籔集	一冊
和歌題百絶	一冊	三大家絶句	一冊
蜀山先生詩集	一冊	東征稿 西上記	二冊
漫遊文草	五冊	昔々春秋	一冊
酒中趣	二冊	左傳凡例考	一冊
左傳比事	一冊	歳華一枝	一冊
名乗字彙	一冊	歳華一枝拾遺	一冊
名乗字引	一冊	略註五經字引	一冊
篆書字引	一冊	易學小筌	一冊
書家必用	一冊	書家錦嚢	一冊
書家便覽	一冊		

古韻通叶　一折　醫書之部

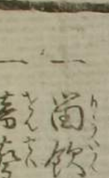
治痘論　一冊
治痘要方補遺　一冊
痘疹珍戒草　三冊
治痘要訣　一冊
續痘科辨要　三冊
痘疹養生訣　一冊
治痘要論　一冊
疱瘡食物考　一折
種痘辨義　一冊
保嬰須知　二冊
方函　二冊
日養食鑑　一冊
雜書之部
翁問荅　四冊
三省錄　五冊
世事百談　四冊
庖礪雜考　二冊
東江小倉百首一冊
子昂真草千字文
子昂龍興寺碑
隸書醉翁亭記
蘭竹画譜　二冊
竹沙小品　一帖
光琳百圖　二冊

光琳百圖 後編　二冊　画圖撰要　三冊　一蝶画譜　三冊
蔥齋略画　二冊　刀劍圖考　一冊　刀釼圖考 二篇　一冊
裝劍備考　一冊　鞍鐙圖式　一冊　甲冑著用辨　二冊
貞丈家訓　一冊　田畑調法記　二冊　百姓袋　一冊
校正孔方圖鑑　一冊　珍錢奇品圖錄　一冊　古錢鑑　一冊
佛鬼軍 一休　一冊　三思一心記　一冊　日蓮卿一代記　一冊
善惡種蒔和讀　八部秘講釋　一冊　曆日講釋　一冊
歌書之部
貫之集類題　二冊　香川景樹集の落葉　二冊　海野遊翁詠柳園家集　二冊
千町抜穂　一冊　園圃抜菜　三冊　萬葉用字格　一冊

靈能一貫　二冊
蜀山百首　一冊
俳諧之部
續故人五百題　二冊
新、五百題　二冊
近世五百題　二冊
過日庵撰　近世十家類題　二冊
十萬發句集　四冊
發句古今撰　二冊
俳諧寂栞　二冊
源氏物語系圖一折
手柄岡持社歌之文　永日草　二冊
竹村茂枝集　穗向屋集　三冊
新五百題　二冊
今人五百題　二冊　三編四冊
過日庵撰　今人百家類題　二冊
題林發句集　四冊
曉臺七部集　二冊
今人發句集　二冊
過日庵輯　蒼虬翁句集　二冊
名家類題　過日庵撰　四冊

一葉集　芭蕉翁一代集　五冊
俳諧四季草　四冊
風俗文選拾遺　二冊
梅澤先生手本向
千字文　一冊
御成敗式目　一冊
新二十六歌仙　一帖
續撰朗詠集　二冊
諸流手本向
同真名序　一帖
一葉集　後篇　翁之文消息　四冊
安政五百題　二冊
庭訓往來　一冊
消息詞　一冊
女今川　一冊
實語教童子教　一冊
俳諧集草　十六冊
過日庵撰　類題金玉集　四冊
風月往來　一冊
庭梅帖　一冊
女雅俗要文　一冊
新撰詩歌合　一冊
尊朝滿湘景　一冊
大橋庭訓往來　一冊

大槁新年帖　一冊　橘正敬庭訓　一冊　正敬商賈往来　一冊
蓮池堂法帖　一帖　瀧本芳野道の記　一冊　瀧本鴻書帖　一冊
雑書并繪入物之部
十返舎一九案文
諸國書狀指　一冊　教訓圖會前後二冊　皇朝三字経　一冊
繪本國恩便談　一冊　大學笑句　一冊　裁縫早手引　一冊
米錢胸算用　一冊　毎朝神拜小言　一折　弐世三馬作　小野馬鹿村　一冊
十返舎一九作
附會案文　一冊　山東京傳作　滑稽文選　一冊　安見道中記　一冊
唐土名所の繪　一枚　甲越勇士鑑前後二冊　諸職雛形　一冊
花鶴百人一首　一冊　女大學玉文庫　一冊　女庭訓往来　一冊



登龍丸

たんせきりゅうがん

食物一切を合なし

一包代百文　七粒入一廻り　代六百五十文

此丸薬は天下一方越家に秘法する所にて疳虫積気を治し食を進め胃を調へ気血を和し痰を消し腹痛を治し婦人産後の血の道を治し小児百日咳疳虫を治し其外疳虫より起る病一切よし

一労症　一咽喉　一疳積　一婦人産後の血の道
一疝気　一疳虫　一小児百日咳
一癪　一脚気つよく小便通じても出ず
一胸痞　一疳積　一虫歯
一労症　一咽喉　一疳積　一婦人産後の血の道
一疝気　一疳虫　一小児百日咳
一癪　一脚気つよく小便通じても出ず
一胸痞　一疳積　一虫歯
一労症　一咽喉　一疳積　一婦人産後の血の道
一疝気　一疳虫　一小児百日咳
一癪　一脚気つよく小便通じても出ず
一胸痞　一疳積　一虫歯

抑疳瘡と梅毒より誌の出物もおほくは奏薬まも奉にあらて
もひ既痛もやくまでも速になるやうにと
ぐるのなり秘る処妙薬効そ速験まをはし百薬を
用ゐるといへも治ぐる処稀有なり名医て匙を投
試ても入て治せざるハ皆一毒薬て治ぐるなり
切疑迷なるといへども下一薬にて婦人毒素淫水用ひ
験て用ひ給ふに名法なるを知べし
よく考ふるに疳瘡の薬多くハ水銀を